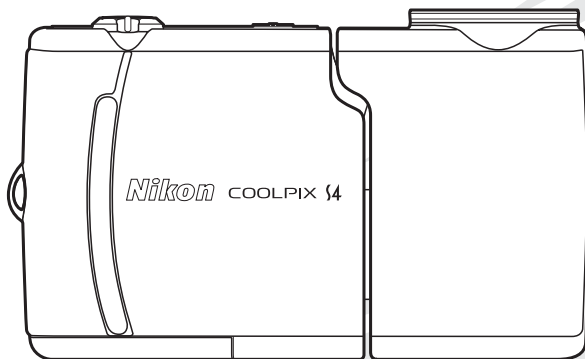
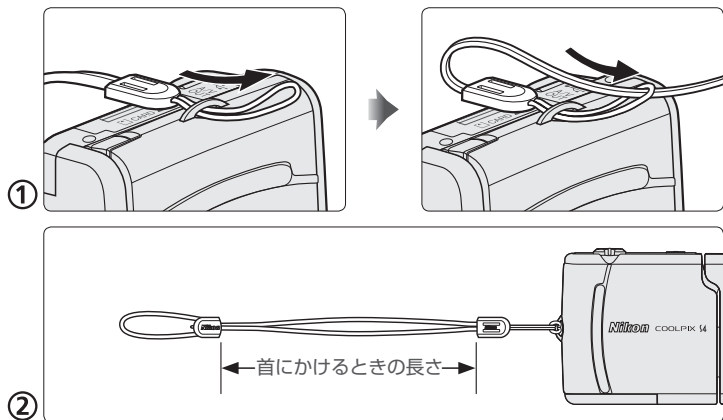
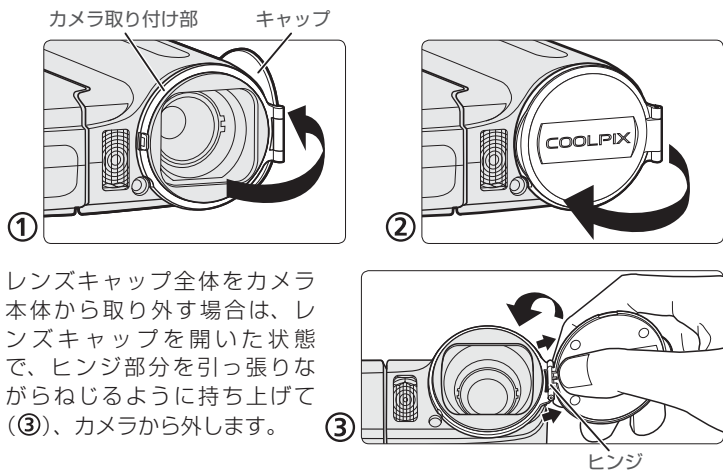
ニコンデジタルカメラ

COOLPIX S4

クールピクスS4

使用説明書

ストラップについて

図のようにストラップを通して（①）から、留め金で長さを調節します（②）。

レンズキャップについて

レンズキャップのカメラ取り付け部をカメラ本体に装着したまま、キャップ部分を開けたり（①）、閉じたり（②）することができます。

レンズキャップ全体をカメラ本体から取り外す場合は、レンズキャップを開いた状態で、ヒンジ部分を引っ張りながらねじるように持ち上げて（③）、カメラから外します。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）

分解禁止

分解したり、修理や改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止

すぐに修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

電池、電源を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

電池を取る

すぐに修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。

電池を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

見ないこと

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。

発光禁止
車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと
事故の原因となります。

発光禁止
フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと
視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影する時は 1m 以上離れてください。

保管注意
幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと
幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

警告
ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児や児童の首にストラップをかけないこと
首に巻き付いて窒息の原因となります。

警告
指定の電池または専用 AC アダプターを使用すること
指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

使用禁止
AC アダプターご使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意
ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。

保管注意
製品は、幼児の手の届かない所に置くこと
ケガの原因になることがあります。

保管注意
使用しないときは、電源を OFF にしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意
三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと
転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

使用注意
飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと
本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。
病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

禁止
プラグを抜く
長期間使用しないときは電源（電池や AC アダプター）を外すこと
電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
AC アダプターをご使用の場合には、AC アダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

発光禁止
内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと
やけどや発火の原因となることがあります。

禁止
布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止
窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと
内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止
付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで使用しないこと
機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼす場合があります。

⚠危険
（リチウム電池、アルカリ乾電池、オキシライド乾電池について）

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（リチウム電池、アルカリ乾電池、オキシライド乾電池について）

禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告、注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

警告

電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

禁止

充電式電池以外は充電しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠警告
（アルカリ乾電池、オキシライド乾電池について）

警告

使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠危険（ニッケル水素電池について）

使用禁止

リチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2 は、COOLPIX 用 Ni-MH 電池 2 本を使用するニコンデジタルカメラ専用の充電式電池です

この機器以外には使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用のチャージャーを使用して 2 本セットで同時に充電すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（ニッケル水素電池について）

警告

外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと

また、外装チューブがはがれたり、キズがついている電池は絶対に使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告、注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること

液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービスセンターまたはリサイクル協力店へご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 注意（ニッケル水素電池について）

注意

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

目次

商標説明

はじめに

ニコンデジタルカメラ COOLPIX S4 をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございます。この使用説明書はデジタルカメラ COOLPIX S4 で撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくご使用ください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する場合に便利な情報を記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

表記について

- SD メモリーカードを「SD カード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。

内蔵メモリーと SD カードについて

このカメラは内蔵メモリーと SD カードの両方に対応しています。SD カードをカメラにセットしているときは、SD カードが優先して使用されます。内蔵メモリーに対して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SD カードをカメラから取り出してください。

付属の説明書について

このカメラにはこの使用説明書のほかに、以下の説明書が付属しています。これらの説明書もあわせてよくお読みください。

簡単操作ガイド

撮影の方法、PictureProject のインストール方法、および画像をパソコンへ転送する方法を簡単に説明しています。

PictureProject（ピクチャープロジェクト） ソフトウェア使用説明書（CD-ROM に収録）

付属のソフトウェア「PictureProject」の使用説明書です。
撮影した画像をパソコンに転送できるほか、パソコン上で画像を調節したり、見やすく整理したりすることができます。

ご確認ください

●本製品を安心してご使用いただくために
本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、AC アダプターなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでご使用ください。
他社製品および模倣品と組み合わせて使用することにより、事故や故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●保証書とカスタマー登録カードについて

この製品には保証書とカスタマー登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入後 1 年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

- カスタマー登録は下記の Web サイトからも可能です。

  https://reg.nikon-image.com

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様や性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービスセンターで新しい使用説明書をお求めください（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

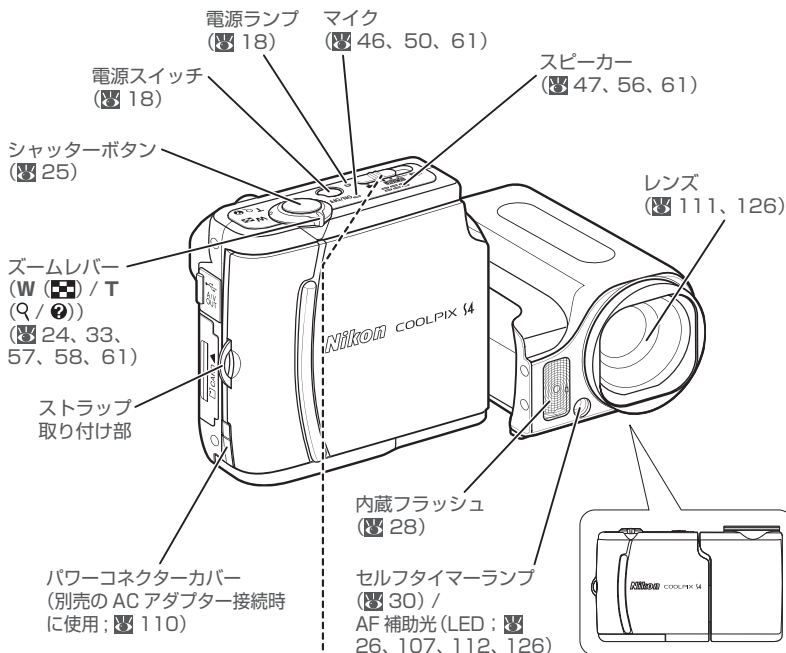
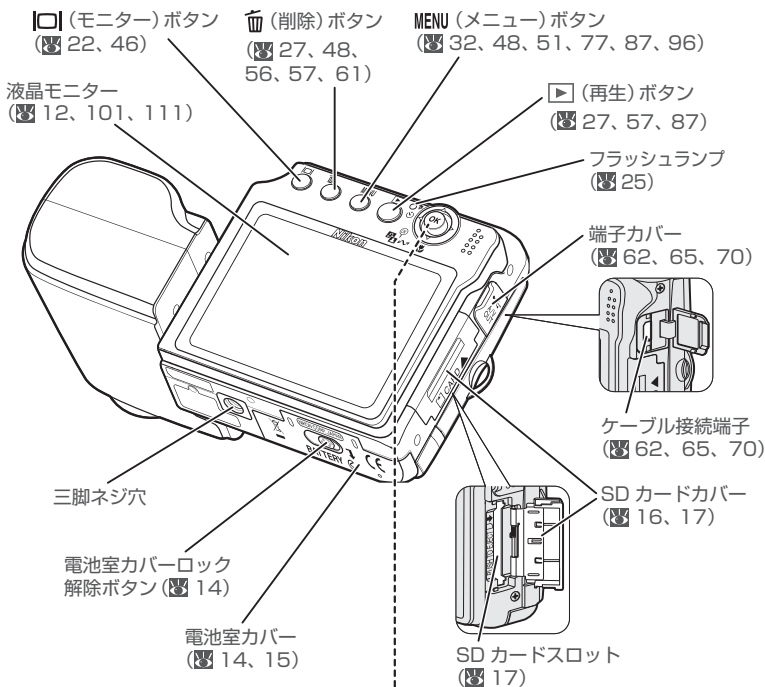
●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●カメラやメモリーカードを譲渡／廃棄するときのご注意

メモリー（メモリーカード／カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には消去されません。譲渡／廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡／廃棄する際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、「オープニング画面」の「撮影した画像」（98）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡／廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

各部の名称

電源ランプ
(18)
マイク
(46、50、61)
電源スイッチ
(18)
スピーカー
(47、56、61)
シャッターボタン
(25)
レンズ
(111、126)
ズームレバー
(W (▦) / T
(Q / ?))
(24、33、
57、58、61)
ストラップ
取り付け部
内蔵フラッシュ
(28)
パワーコネクターカバー
(別売の AC アダプター接続時
に使用 ; 110)
セルフタイマーランプ
(30) /
AF 補助光(LED ;
26、107、112、126)
レンズ部収納時
モードセレクター (21、32、51)
SCENE (シーンモード)
(32)
4 種類の「アシスト機能付きシーンモード」と 12 種類のシーンモードからモードを選択するだけで、状況に適した撮影や音声レコードが楽しめます。
(オート撮影モード)
(21)
カメラまかせで簡単に撮影できます。また、7 種類の撮影メニューを自由に設定して撮影することも可能です。
(動画撮影モード)
(50)
4 種類の動画を撮影できます。
SCENE
Nikon
COOLPIX S4

モニターボタン（モニター）ボタン（22、46）

削除ボタン（削除）ボタン（27、48、56、57、61）

MENU（メニュー）ボタン（32、48、51、77、87、96）

液晶モニター（12、101、111）

再生ボタン（再生）ボタン（27、57、87）

フラッシュランプ（25）

端子カバー（62、65、70）

ケーブル接続端子（62、65、70）

SD カードカバー（16、17）

三脚ネジ穴

電池室カバーロック解除ボタン（14）

電池室カバー（14、15）

SD カードスロット（17）

液晶モニターの表示

図は説明のため、全表示を点灯させた状態を示しています。

撮影時

再生時

1 撮影モード..21
シーンモード..32
動画モード..50
2 AE-L 表示..........................45、55、83
3 ズーム表示 1)..24
4 AF 表示 2)..25
5 電池残量チェック 3)....................21、22
6 内蔵メモリー /SD カード表示....21、26
7 手ブレ警告 4)....................29、40、114
8 時計マーク 5)..20
9 ワールドタイム................................100
10 セルフタイマー / カウントダウン表示...30
11 デート写し込み / 誕生日カウンター..102
12 記録可能コマ数........................21、123
動画連続撮影記録時間........................50
13 フラッシュモード................................28
14 露出補正マーク / 露出補正値...............80
15 画像モード..78
16 感度表示..85
17 連写モード..81
18 BSS..84
19 マクロモード..............................31、41
20 ホワイトバランス................................79
21 ピクチャーカラー................................86

1) ズーム操作時に表示
2) シャッターボタンの半押し時に表示
3) 電池残量が少なくなったときに表示
4) シャッタースピードが遅いときに点滅表示
5) 日時が設定されていない場合に点滅表示

1 フォルダー名..124
2 ファイル名..124
3 内蔵メモリー /SD カード表示............ 57
4 電池残量チェック※....................21、22
5 D- ライティングガイド........................60
6 音量表示..56、61
7 音声メモ録音ガイド............................61
8 音声メモ再生ガイド............................61
9 表示画像コマ番号 / 総画像コマ数....123
動画再生時間..56
10 D- ライティング済みマーク................60
11 動画再生表示..56
12 音声メモ表示..61
13 画像モード..78
14 動画モード..56
15 プロテクト表示....................................90
16 プリント表示..69
17 転送マーク................................91、107
18 撮影時刻..19
19 撮影日付..19

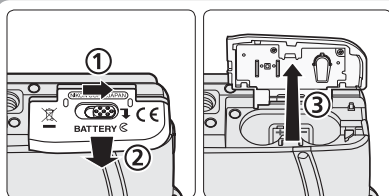
※ 電池残量が少なくなったときに表示

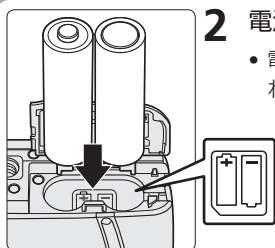
撮影の準備

電池を入れる

このカメラは、次の電池が使用できます（いずれも単３形、２本１組で使用）。

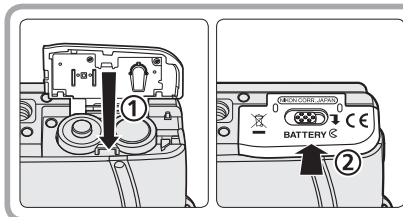
- アルカリ乾電池（LR6）（付属の電池）
- リチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2（ニッケル水素電池）（110）
- オキシライド乾電池（ZR6）
- リチウム電池（FR6/L91）

新しい電池と使いかけの電池を混ぜたり、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使わないでください。

1 電池室カバーを開ける

- 電池室カバーロック解除ボタンを横にずらした状態（①）で、電池室カバーを矢印の向きにスライドさせると（②）、カバーが開きます（③）。

2 電池を入れる

- 電池室内の図に合わせて、＋と－を正しい向きで入れてください。

[重要] 付属品以外の電池をお使いになるときは

アルカリ乾電池以外の電池をお使いになる場合は、電池の種類に合わせて、セットアップメニューの［**電池設定**］（109）を変更してください。電池の種類を正しく設定することで、電池を効率よく使うことができます。

3 電池室カバーを閉じる

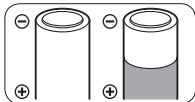
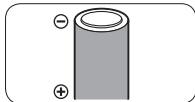
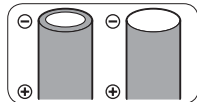
- 電池室カバーを閉じ（①）、矢印の向きにスライドさせます（②）。
- 電池室カバーがしっかり閉じていることを確認してください。

電池についてのご注意

- **カメラの電源を OFF にして**（ 18）、電源ランプが消灯していることを確認した上で、電池室カバーを開けてください。
- 電池を入れる際には、「安全上のご注意」の「警告」、「危険」（ 4 ～ 5）の注意事項を必ずお守りください。
- 電池をご使用の際には、「取り扱い上のご注意」（ 113）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくご使用ください。
- カメラに三脚を取り付けた状態では、電池の交換はできません。

このような形状の電池はご使用になれません

- 外装シール（絶縁被覆）の一部またはすべてがはがれている電池や、破れている電池を使用すると、液もれ、発熱、破裂の原因となります。絶対に使用しないでください。
- 市販されているままの状態でも、電池によっては外装シールが充分でないものがあります。このような電池も絶対に使用しないでください。

使用できない電池の形状

外装シールの一部またはすべてがはがれている電池

マイナス電極の一部がふくらんでいるが、外装シールが側面だけの電池

マイナス電極が平らな電池（マイナス電極が外装シールで覆われていても覆われていなくても使用できません）

アルカリ乾電池の性能について

アルカリ乾電池はメーカーにより性能が大きく異なる場合がありますので、信頼できるメーカーの電池をご使用ください。

使用できる AC アダプターについて

再生時や音声録音時、パソコンまたはプリンターとの接続時など、カメラを長時間ご使用になる場合は、別売の AC アダプターキット EH-62B（ 110）の使用をおすすめします。AC アダプターを使用すると、家庭用電源（AC100V）から COOLPIX S4 へ電力を供給できます。**EH-62B 以外の AC アダプターは絶対に使用しないでください。**カメラの故障、発熱の原因となります。

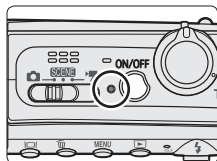
SD カードを入れる

撮影した画像は、カメラの内蔵メモリー（約 13.5MB)、または市販の SD カードのいずれかに記録することができます。使用可能な SD カードについては、「付録一別売アクセサリー」の推奨 SD カード一覧 (110) をご覧ください。

SD カードをカメラにセットしていない場合：
撮影した画像はカメラの内蔵メモリーに記録されます。再生 (27、57) や削除 (27、90)、初期化 (106) などの操作も、内蔵メモリーに記録された画像が対象になります。

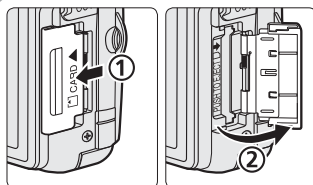
SD カードをカメラにセットした場合：
撮影した画像は SD カードに記録されます。再生や削除、初期化などの操作も、SD カードに記録された画像が対象になります。

内蔵メモリーに記録したいときは、必ずSDカードを取り出してから撮影してください。

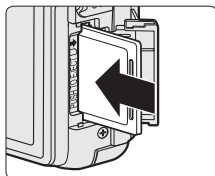
SD カードを使用する場合、次の手順でセットしてください。

1 カメラの電源が OFF になっていることを確認する

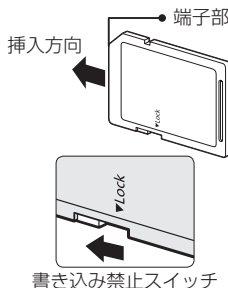
- 電源ランプが消灯していることをご確認ください。

✓ SD カードを出し入れする前に

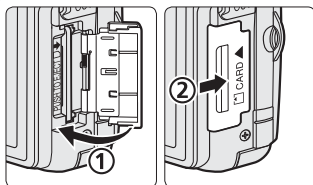
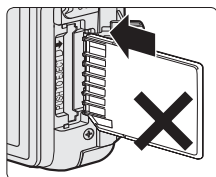
SD カードを入れたり、取り出したりする前に、必ずカメラの電源を OFF にしてください (18)。

2 SD カードカバーを開ける

- SD カードカバーを矢印の向きにスライドさせると (①)、カバーが自動的に開きます (②)。

撮影の準備

3 SDカードを入れる

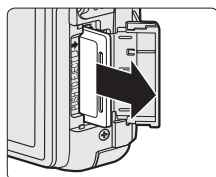
- SDカードを端子部側からSDカードスロットにカチッと音がするまで差し込みます。
- SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」になっている場合は、画像の撮影、削除、編集、カードの初期化を行うことができません。SDカードをカメラに入れる前に、書き込み禁止スイッチの「Lock」を外してください。

書き込み禁止スイッチ

逆挿入注意

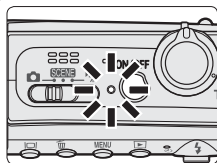
向きを間違えて入れると、カメラやSDカードが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、よくご確認ください。

4 SDカードカバーを閉じる

- SDカバーを閉じ（①）、矢印の向きにスライドさせます（②）。
- SDカバーがしっかり閉じていることを確認してください。

SDカードを取り出すには

カメラの電源をOFFにして（🔗 18）、電源ランプが消灯していることを確認した上で、SDカードカバーを開けてください。SDカードを軽く押し込むと、カードの端が少し出てきますので、まっすぐ引き抜いて取り出してください。

SDカードの初期化

COOLPIX S4以外の機器で初期化したSDカードをはじめてCOOLPIX S4で使用する場合は、あらかじめSDカードをこのカメラで初期化（フォーマット）する必要があります。詳しい手順については、「メモリーの初期化 / カードの初期化」（🔗 106）をご覧ください。

電源を ON にする

電源を ON にする

- 電源ランプが点灯するまで、電源スイッチを押します。
- はじめて電源を ON にしたときは、言語や日時を設定する画面が自動的に表示されます。設定方法は「言語と日時を設定する」(19) をご覧ください。

電源ランプの状態は、次の意味を表しています。

電源ランプの状態	意　味
点　灯	電源 ON
遅い点滅	オートパワーオフ機能作動中
速い点滅	電池残量がありません (114)
消　灯	電源 OFF

カメラの電源を OFF にするときは

電源スイッチをもう一度押します。

- 電源が OFF になると、電源ランプが消灯します。
- 電源ランプが消灯するまで電池や SD カードを取り出したり、専用 AC アダプター (別売) を外したりしないでください。

節電モードとオートパワーオフ機能

カメラの電源を ON にしたまま約 5 秒間なにも操作しないと、ゆっくりと液晶モニターの輝度が低くなります (節電モード)。シャッターボタンまたは液晶モニターの上にあるボタンのいずれかを操作すると、液晶モニターは元の明るさに戻ります。

カメラの電源を ON にしたまま約 1 分 (初期設定) なにも操作をしないと、電池の消耗を抑えるために、液晶モニターが消灯します (オートパワーオフ機能)。オートパワーオフ機能が作動してからなにも操作しないで約 3 分経過すると、自動的に電源がオフになります。オートパワーオフ機能については、セットアップメニューの「オートパワーオフ」をご覧ください (105)。

言語と日時を設定する

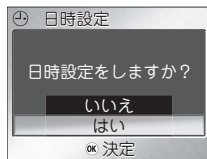
はじめてカメラの電源をONにしたときは、言語や日時を設定する画面が自動的に表示されます。以下の手順で設定してください。

1

Deutsch
English
Español
Français
Italiano
Nederlands
Русский
Svenska
日本語
中文(简体)
中文(繁體)
한글
MENU キャンセル OK 決定

カメラの電源をONにすると、言語の選択画面が表示されます。マルチセレクターで言語を選択します。

- MENU ボタンを押すと、言語 / 日時設定をキャンセルして、モードセレクターに対応した画面が表示されます。

2

OK を押すと、「日時設定」画面が表示されますので、[**はい**] を選択してください。

3

OK を押すと、「ワールドタイム」画面が表示されます。

- 夏時間を設定する場合はセットアップメニューの「日時設定」(99) をご覧ください。

4

マルチセレクターの**右**で「自宅の設定」画面が表示されます。**右**または**左**で、自宅のあるタイムゾーン(地域)を選択します。

5

OK を押すと、「日時設定」画面が表示されます。

6

[**年**] が点滅しますので、マルチセレクターの**上**または**下**で年を合わせます。

7

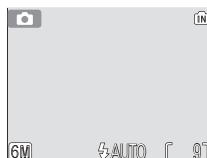
マルチセレクターの**右**で [**月**] の設定に移ります。6 と 7 の手順を繰り返して、月、日、時、分を順番に合わせます。

8

マルチセレクターの**右**で [**年月日**] の位置が点滅します。

9

マルチセレクターの**上**または**下**で年月日の表示順を [**年月日**]、[**日月年**]、[**月日年**] の中から選択します。

10

OK を押すと、日時が決定してモードセレクターに対応した画面が表示されます (例は 📷 モード時)。

撮影の準備

日時設定について

- 日時を設定すると、撮影した日時の情報が画像に記録されます。ただし、日時を設定しただけでは、プリント時に日付は写し込まれません (日付を入れてプリントする方法 : 125)。
- カメラの電源を ON にしたときに時計マーク () が点滅表示された場合は、日時を設定してください。
- カメラの内蔵時計は一般的な時計 (腕時計など) ほど精度は良くありません。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。
- 日付と時刻が設定されていない場合は、撮影時に画面に時計マーク () が点滅し (12)、撮影した画像の撮影日時情報には「0000.00.00　00:00:00」(静止画) または「2005.01.01.00:00:00」(動画) と記録されます。

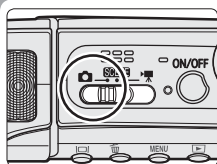
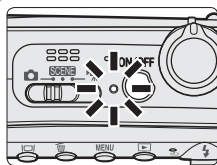
バックアップ電池について

バックアップ電池は、電池や AC アダプターでカメラに電源が供給されていると、約 10 時間で充電されます。充電が完了すると、カメラの電池を取り出したり、AC アダプターを外したりしても、記憶された日時は**数日間**保持されます。**バックアップ電池が切れたときは、自動的に日時の設定画面が表示されるので、再度日時を設定してください。**

- バックアップ電池の充電が不充分な場合は、設定した日時や誕生日カウンター (102) のデータが失われることがあります。

カメラまかせの簡単撮影（オート撮影モードで撮る）

1. モードセレクターを 📷（オート撮影）にセットする

📷（オート撮影）モードでは、撮影状況に最適な状態に自動的にセットされるので、はじめてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

1 カメラのモードセレクターを 📷 に合わせる

2 カメラの電源を ON にする

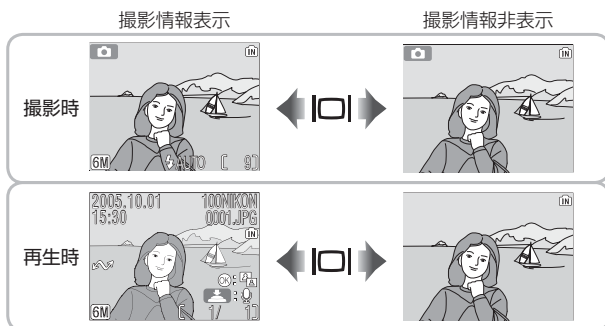
- 電源を ON にすると、電源ランプが点灯し、撮影画面が表示されます。

電池残量チェック表示について

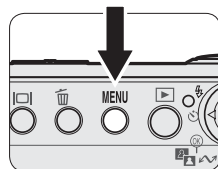
表　示	意　味	カメラの状態
表示なし	電池の残量は充分です。	撮影できます。
（点灯）	電池の残量が少なくなりました。電池交換の準備をしてください。	撮影できますが、フラッシュの充電中は、液晶モニターが消灯します。
電池残量がありません	電池の残量がなくなりました。電池を交換してください。	撮影できません。

- 電池の残量がなくなると、電源ランプが速く点滅し、液晶モニターに「電池残量がありません」という警告メッセージが表示されます。

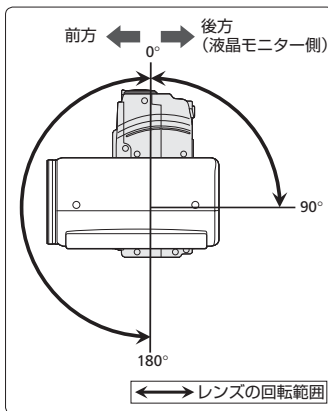
液晶モニターの表示について

撮影時または再生時に ボタンを押すと、液晶モニターの撮影情報の表示 / 非表示を切り換えることができます。

意図的に工夫して撮影するには

（オート撮影）モードでは、フラッシュモード（28）、セルフタイマー（30）、およびマクロモード（31）の設定ができます。

さらに、**MENU** ボタンを押すことによって、ホワイトバランスや露出補正、連写など、撮影者が意図的に工夫して撮影できる 7 種類の撮影メニューを設定できます。詳しくは撮影メニューの各項目（76）をご覧ください。

2. 構図を決める

1 レンズ部を回転させ、レンズの角度を決める

- レンズ部は、液晶モニターのある面を撮影者側にした場合、前方に最大約 180°まで、後方（撮影者側）に最大約 90°まで回転します。
- レンズを撮影者側に向けると、セルフポートレート撮影も可能です。液晶モニターで実際に撮影される画像の構図を確認できます。
- レンズ部は回転範囲内でゆっくり回してください。

2 カメラを構える

- 手ブレを防ぐため、カメラは両手でしっかりと持ってください。

カメラを構えるときのご注意

カメラのレンズやフラッシュ発光部、AF 補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないよう、充分に注意してください。レンズキャップを装着している場合は、キャップ部分がレンズにかかっていないことを確認してください。

三脚使用時のご注意

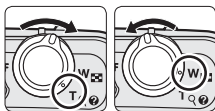
カメラに三脚を取り付けた状態でレンズ部を回転させると、角度によっては三脚に当たってレンズを傷つける可能性があります。レンズ部の回転を行ってから、カメラに三脚を取り付けてください。

対面時の撮影について

レンズを液晶モニター側に向けて対面撮影を行う場合は、液晶モニターには鏡に映ったような状態（鏡像）で被写体が表示されますが、撮影画像はレンズの向こう側から見た状態（正像）で記録されます。

3 構図を決める

望遠側にズーミング

広角側にズーミング

画面上部のズーム表示はズームの量を表します。

- 写したいもの（被写体）を画面の中央に合わせ、構図を決めます。
- このカメラは、10倍の光学ズームを装備しています。ズームレバーを操作することによって、被写体の大きさを変更することができます。
- ズームレバーを **T**（望遠）側に回すたびに、レンズが望遠側にズーミングして、被写体を大きく写すことができます。
- ズームレバーを **W**（広角）側に回すたびに、レンズが広角側にズーミングして、撮影する範囲が広くなります。

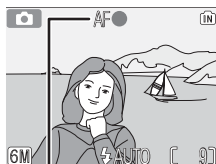
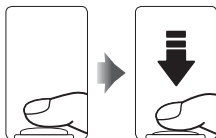
電子ズームを使うには

光学ズームを最も望遠側にして、ズームレバーを **T** 側に回したままさらに約2秒以上経過すると、電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率（10倍）の約4倍（合計約40倍）まで拡大することができます。

- 電子ズームが作動すると、ズーム表示が黄色に変わります。
- 電子ズームをキャンセルするには、ズーム表示が白色に戻るまでズームレバーを **W** 側に回してください。

✔ 電子ズームについてのご注意

電子ズームは、カメラがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームとは違い、画像の中央部分を単に画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。

3. ピントを合わせて撮影する

1 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる

- シャッターボタンを軽く押して、途中で止める動作を「**シャッターボタンを半押しする**」といいます。シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、液晶モニターに AF 表示が緑色に点灯します。
- 半押し中はピントと露出が固定されます。
- 📷（オート撮影）モードでは、液晶モニターの中央に映っている被写体にピントが合います。

メモ 構図を変えて撮影するには（122）

AF表示

フラッシュランプ

シャッターボタンを半押ししたときの AF 表示、フラッシュランプの意味は次のとおりです。

状態		意味
AF 表示	緑色点灯	被写体にピントが合っています。
	赤色点滅	被写体にピントを合わせることができません。構図を変えて再度ピントを合わせてください（122）。
フラッシュランプ	赤色点灯	シャッターボタンを押し込むと、フラッシュが発光します。
	赤色点滅	フラッシュは充電中です。
	消灯	フラッシュは発光しません。

2 半押ししたまま、ゆっくりとシャッターボタンを最後まで押し込み、撮影する

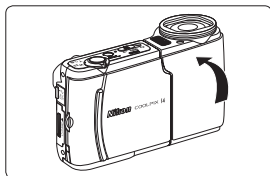
- シャッターボタンを一気に押すと手ブレの原因になります。シャッターボタンはゆっくりと最後まで押し込んでください。
- 撮影した画像が手ブレしている可能性が高い場合、手ブレお知らせ画面が表示されることがあります(104)。

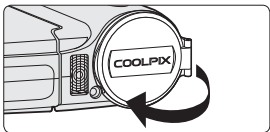
撮影を終了するときは

撮影を終了するときは、カメラを保管する前に次の操作を行ってください。

1 カメラの電源を OFF にする (18)

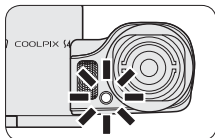
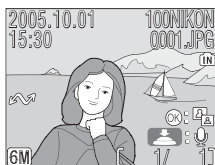
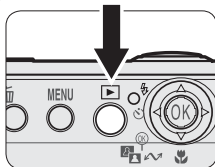
2 レンズ部を収納する

レンズ部を回転させて、図のように収納します。

3 レンズキャップのキャップ部分を閉じる

レンズキャップを取り付けている場合は、図のようにキャップ部分を閉じます。

画像記録中のご注意

- 撮影画面に ⌛ マークが表示されているときや、IN / ▢（内蔵メモリー / SD カード表示）アイコンが点滅しているときは、画像を記録中です。SD カードや電池などを取り出さないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影した画像やカメラ、SD カードが壊れたりする場合があります。
- 撮影画面に ⌛ マークが表示されていないときは、撮影が可能です。

AF 補助光

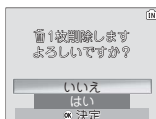
COOLPIX S4 は、AF 補助光を搭載しています。被写体が暗い場合にシャッターボタンを半押しすると、AF 補助光が自動的に照射され、被写体を照らしてオートフォーカスでピントを合わせやすくします。詳しくは、セットアップメニューの「AF 補助光」をご覧ください(107)。

4. 撮影した画像を確認する（1 コマ再生モード）

▶ ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

- マルチセレクターを**左**または**上**に倒すと前画像を、**右**または**下**に倒すと次画像を見ることができます。画像を早送りしたい場合は、マルチセレクターを倒し続けてください。
- 記録した画像をすばやく表示するために、表示を切り換えた直後は画像が粗くなることがあります。
- 1 コマ再生モードを終了して撮影モードに戻る場合は、もう一度 ▶ ボタンを押してください。

画像を削除するには

撮影モードまたは再生モード時に 🗑 ボタンを押すと、液晶モニターに削除確認画面が表示されます（メニュー画面表示時は除く）。液晶モニターに表示されている画像を削除したい場合は、［**はい**］を選択し、Ⓚ を押すと、画像が削除され、撮影画面または再生画面に戻ります。

- ［**いいえ**］を選択して Ⓚ を押すと、画像は削除されずに撮影画面または再生画面に戻ります。

▶ ボタンによる電源 ON

電源が OFF の状態で、▶ ボタンを 1 秒以上押し続けた場合は、1 コマ再生モードで電源が ON になります。電源が OFF の状態からすぐに再生画面を見たい場合に便利です。もう一度 ▶ ボタンを押すと、モードセレクターに対応した撮影画面が表示されます。

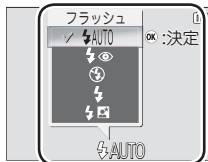
画像の再生について

画像再生の詳細については、「いろいろな再生」（57）をご覧ください。

暗い場所や逆光で撮影するには―フラッシュの使い方

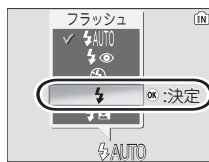
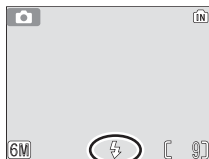
撮影状況に合わせて、5 種類のフラッシュモードを選択できます。

設 定	内 容	使用場面
AUTO 自動発光	被写体が暗い場合にフラッシュが自動的に発光します。	一般的なフラッシュ撮影をする場合に使用します。
赤目軽減自動発光	人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。内蔵フラッシュが発光する前にあらかじめ数回小量発光することに加え、カメラが赤目現象を検出すると、赤目の部分を補正して記録します（29）。	• ポートレート撮影時に使用します（被写体の人物に、フラッシュの小量発光をしっかり見てもらうと効果が上がります）。 • シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません。
発光禁止	フラッシュの発光を禁止します。	• 暗い場所で自然光で撮影したい場合、またはフラッシュの使用が禁止されている場所で撮影するときに設定します。 • （手ブレ警告）アイコンが表示された場合は、手ブレに注意して撮影してください。
強制発光	被写体の明るさに関係なく、必ずフラッシュが発光します。	昼間の屋外撮影で顔に影がかかる場合や、逆光での撮影時などに使用します。
スローシンクロ	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。	夕景や夜景を背景とした人物撮影などで、遠くの背景と近くの人物の両方をきれいに写したい場合に使用します。

1

撮影時にマルチセレクターを**上**（）に倒すと、フラッシュモードのリストが表示されます。

2

モードを選択します。

3

Ⓞⓚ を押すと、選択したフラッシュモードにセットされます。画面にはセットされたフラッシュモードのアイコンが表示されます。

- Ⓞⓚ を押さないまま 2 秒以上経過すると、設定せずに撮影モードに戻ります。

暗い場所で撮影する場合のご注意

- 画面を見やすくするために、液晶モニターが通常の撮影時にくらべてザラついた表示になることがあります。
- フラッシュモードが ⊛（発光禁止）にセットされているときは、シャッタースピードが遅くなり、画面に ✋（手ブレ警告）アイコンが表示されます。三脚などでカメラを安定させて撮影してください。また、このような状況で撮影された画像には、ノイズが発生する場合があります。

フラッシュ使用時のご注意

フラッシュを使用して撮影すると、フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込んでしまう場合があります。このような場合は、フラッシュモードを ⊛（発光禁止）にして撮影することをおすすめします。

📷（オート撮影）モード時のフラッシュモードについて

📷（オート撮影）モードの場合、フラッシュモードは、電源を OFF にしても、前回の撮影時に設定していたモードが記憶されます。[**設定クリアー**]（🔖 108）を行った場合は、初期設定の ⚡ AUTO（自動発光）に戻ります。

調光範囲について

調光範囲（フラッシュの光が充分に届く距離）は、約 0.4 ～ 3.0m です。0.4m よりも近距離側でフラッシュを使用すると、光が充分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。近距離撮影時にはテスト撮影をして、液晶モニターで画像を確認してください。

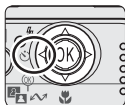
赤目軽減自動発光について

COOLPIX S4 の赤目軽減自動発光は**アドバンスト赤目軽減方式**です。フラッシュの小量発光による赤目軽減に加え、カメラが赤目現象を検出すると赤目の部分を補正して記録します。そのため、次の撮影ができるまでの時間が通常より若干長くなります。撮影状況によっては、期待通りの結果が得られない場合があります。また、ごくまれに赤目以外の部分が補正される場合がありますが、このような場合は、ほかのフラッシュモードで再度撮影することをおすすめします。

カメラから離れて撮影するには—セルフタイマーの使い方

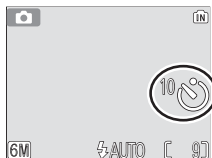
セルフタイマーを使用すると、シャッターボタンを押してから約 10 秒後に、自動的にシャッターがきれます。記念撮影など撮影者自身が写りたいときや、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防ぎたいときなどに便利です。

セルフタイマーを使用するときは、三脚などでカメラを安定させてください。

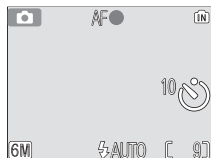
1

撮影時にマルチセレクターを**左**（）に倒すと、セルフタイマーモードのリストが表示されます。

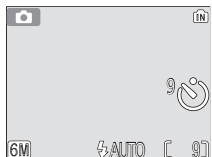
2

[ON] を選択します。

3

を押すと、セルフタイマーモードが ON にセットされ、画面に アイコンが表示されます。

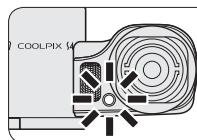
- を押さないまま 2 秒以上経過すると、設定せずに撮影モードに戻ります。

4

構図を決めたら、シャッターボタンを半押ししてピントと露出を合わせます。

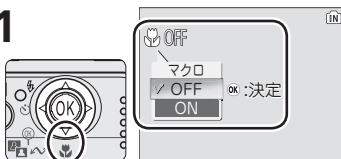
5

シャッターボタンを半押ししたままさらに深く押し込むと、セルフタイマーが作動し、約 10 秒後、自動的にシャッターがきれます。

- 撮影までの秒数を示すカウントダウン表示が画面に表示されます。
- 作動中のセルフタイマーを停止するには、もう 1 回シャッターボタンを押すか、マルチセレクターを**左**（）に倒してください。

セルフタイマーが作動すると、セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約 1 秒前に点灯します。

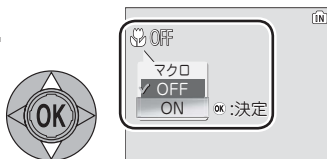
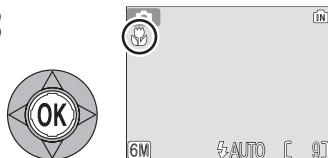
いろいろな撮影

手軽に接写するには―マクロモードの使い方

マクロモードを ON にすると、最短約 4cm まで被写体に近づいて撮影することができます。

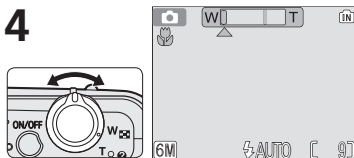
1

撮影時にマルチセレクターを**下**（ ）に倒すと、マクロモードのリストが表示されます。

2

[**ON**] を選択します。

3

Ⓚ を押すと、マクロモードが ON にセットされ、画面に アイコンが表示されます。

- Ⓚ を押さないまま 2 秒以上経過すると、設定せずに撮影モードに戻ります。

4

構図を決めます。

- アイコンとズーム表示が緑色に表示されるズーム位置では、レンズ前約 4cm までの被写体にピントを合わせることができます。

いろいろな撮影

マクロモードについてのご注意

- 約 40cm より近距離でフラッシュを使用すると、光が充分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。テスト撮影をして、液晶モニターで画像を確認してください。
- マクロモードでは、シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常にピント合わせを繰り返します。

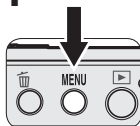
シーンを選んで気軽に撮影（シーンモードで撮る）

COOLPIX S4 には、さまざまな撮影シーンに合わせて、カメラを最適な状態に設定する「シーンモード」が用意されています。4 種類の「アシスト機能付きシーンモード」と 12 種類の「シーンモード」(39) から、状況に合ったモードを選択するだけで、シーンに合った撮影や、音声だけを録音する「音声レコード」(46) が気軽に楽しめます。

シーンモードを使用するには、モードセレクターを SCENE（シーンモード）に合わせてください。

アシスト機能付きシーンモード（、、、）

アシスト機能付きシーンモードでは、画面に表示されるガイドの位置に被写体を合わせるだけで、ピントや露出の合った撮影が可能です。アシスト機能を使用する場合は、次の手順で撮影してください。

1

シーンモードの選択画面が表示されます。

2

アシスト機能付きシーンモード

マルチセレクターでアシスト機能付きシーンモードを選択します。

- 選択されているシーンモードのアイコンが明るく大きく表示されます。
- シーンモードの変更をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

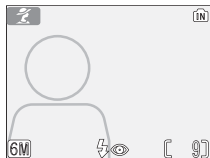
3

OK を押すと、選択されているシーンモードのアシスト機能が表示されます。マルチセレクターで使用するアシスト機能を選択します。

セットアップメニューについて

シーンモードの選択画面で （**セットアップ**）を選択すると、セットアップメニューが表示されます (95)。日時設定やメニュー画面の見え方などを設定します。

4

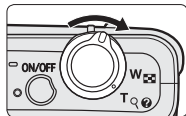
OK を押すと、画面にガイドが表示されます。

5

表示されたガイドに被写体を合わせて、撮影します。

画像モード

シーンモード、アシスト機能付きシーンモードの選択画面で、「画像モード」(78) を選択できます。(**画像モード**) を選択して OK を押すと、画像モードのリストが表示されます。セットしたい画像モードを選択して OK を押すと、選択したモードにセットされます。

ヘルプを表示する

シーンモードやアシスト機能付きシーンモードの選択画面、動画メニュー (50)、撮影メニュー (76)、再生メニュー (87)、セットアップメニュー (96) で、ズームレバーを **?(T)** 方向に回すと、現在選択中のシーンモードやメニュー項目に関するヘルプ画面が表示されます。

- ヘルプの表示中にそれぞれのメニュー画面に戻るには、ズームレバーをもう一度 **?(T)** 方向に回します。
- 撮影画面や再生画面に戻るには、MENU ボタンを押します。
- **シーンモード、アシスト機能付きシーンモードの場合**；マルチセレクターを上または下に倒すと、他のアシスト機能またはシーンモードの説明が表示されます。OK を押すと、ヘルプを表示しているアシスト機能またはシーンモードに設定され、選択したモードの撮影画面が表示されます。
- **動画メニュー、撮影メニュー、再生メニュー、セットアップメニューの場合**：OK を押すと、ヘルプを表示しているメニュー項目の設定画面が表示されます。

思いどおりの画像にならない場合は

撮影状況によっては、選択したシーンモードでは期待どおりの結果にならない場合があります。このような場合は、(オート撮影) モードで撮影することをおすすめします。

ガイド使用時のご注意

- **被写体をガイドに合わせるときは、周りの状況や足もとをご確認ください。**
- ガイドは目安としてご使用ください。被写体をガイドに正確に合わせる必要はありません。

ポートレート

人物を撮影する場合に適しています。人物を浮き立たせて立体感のある画像に仕上げます。アシスト機能を使用すると、被写体が画面の中心になくても、ピントや露出の合った撮影が可能です。[**ポートレート**] 以外のアシスト機能では、被写体が暗くても、AF 補助光は照射されません。

ポートレートモードでは次のアシスト機能が選択できます。

顔認識AF	カメラが人物の顔を自動的に認識してピントを合わせます。詳しくは、次のページをご覧ください。
ポートレート	画面にガイドは表示されません。画面の中央にある被写体にピントを合わせます。 • 被写体が画面の中央にない場合は、AF ロック撮影を行ってください（構図を変えて撮影するには：122）。
人物左	人物の顔を画面のやや左寄りにアップで撮影する場合に適しています。 • 画面に表示されるガイドと重なる部分に、ピントと露出を合わせます。
人物右	人物の顔を画面のやや右寄りにアップで撮影する場合に適しています。 • 画面に表示されるガイドと重なる部分に、ピントと露出を合わせます。
ウエストショット	人物を腰から上のアップで撮影する場合に適しています。 • 画面に表示されるガイドの顔と重なる部分に、ピントと露出を合わせます。
ツーショット	2 人並んだ人物を腰から上のアップで撮影する場合に適しています。 • 画面に表示される 2 つのガイドのうち、重なる部分の近い方にピントと露出を合わせます。
縦位置	人物を縦位置で撮影する場合に適しています。 • 画面に表示されるガイドの顔と重なる部分に、ピントと露出を合わせます。

	(赤目軽減自動発光)（全モードに変更可能）		OFF に固定

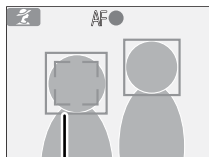
表の中の はフラッシュモード (28)、 はマクロモード (31) を示しています。

顔認識 AF モードの撮影手順

1

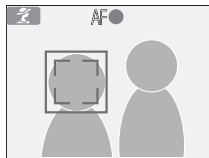
ポートレートのアシスト機能選択画面で「顔認識 AF」（初期設定）を選択して OK を押すと、顔認識 AF モードの撮影画面が表示されます。

- 画面の中央に、カメラが顔を認識する大きさの目安を示すマーク（☺）が点滅します。

2

AF エリア

人物の顔が ☺ マークとほぼ同じ大きさになると、カメラが顔を認識し、二重枠の黄色い四角形（AF エリア）で示します。

- 複数の顔を認識した場合は、カメラに最も近くにいる人の顔を二重枠で示し、他の顔は一重枠で示します。顔は 3 つまで認識します。
- 途中で被写体が横を向くなどして、カメラが被写体を見失った場合は、手順 1 の画面に戻ります。

3

AF エリアが表示されている状態で、シャッターボタンを半押しすると、ピントが固定されます。

- 二重枠の四角形が黄色から緑色に変わります。

4

シャッターボタンを深く押し込んで撮影します。

顔認識 AF について

- どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。
- カメラは人物の顔を認識するまでピント合わせを繰り返します。
- シャッターボタンを半押しした状態で二重枠が黄色点滅している場合は、顔にピントが合っていません。もう一度ピントを合わせてください。
- カメラが人物の顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 顔認識 AF モードで撮影するときは、電子ズーム（📷 24）は作動しません。
- 次のような場合、カメラは人物の顔を認識できません。
  - ・サングラスをかけるなど、人物の顔の一部がさえぎられている。
  - ・被写体との距離が近すぎて顔がアップになっている。
  - ・被写体との距離が遠すぎて顔が小さくなっている。

風景

風景を撮影する場合に適しています。木々の緑や青空などの輪郭やコントラストを強調して、鮮やかな色の画像に仕上げます。風景を背景にして人物を撮影する場合にも適しています。風景モードでは、被写体が暗くても、AF 補助光は照射されません。

風景モードでは次のアシスト機能が選択できます。

風景	画面にガイドは表示されません。 • 遠景にピントが合うようにセットされます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
山	遠くの山並みを撮影する場合に適しています。 • 画面に上下 2 本のガイドラインが表示されます。山の稜線が上側の黄色い波形のガイドに重なるように構図を合わせます。 • 遠景にピントが合うようにセットされます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
建物	建物を撮影する場合に適しています。 • 構図を合わせやすいように、格子状のガイドを表示します。 • 遠景にピントが合うようにセットされます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。

	(発光禁止) に固定		**OFF** に固定

左背景	背景を左に、人物を右に配置した構図で撮影する場合に適しています。 • 人物にピントと露出を合わせます。
右背景	背景を右に、人物を左に配置した構図で撮影する場合に適しています。 • 人物にピントと露出を合わせます。

	AUTO(自動発光)(全モードに変更可能)		**OFF** に固定

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影する場合に適しています。動きのある被写体の一瞬の動きを鮮明にとらえます。このモードでは、ガイドは表示されません。
スポーツモードでは次のアシスト機能が選択できます。

スポーツ	シャッターボタンを深く押し続けることにより、約 1.3 コマ / 秒で連続撮影できます。 • 画像モードが 6M **標準 (2816)** の場合、連続で約 6 コマ撮影できます。 • ピントと露出、ホワイトバランス (79) は 1 コマ目の画像を撮影した条件に固定されます。 • セルフタイマーは使用できません。
スポーツマルチ連写	シャッターボタンを押し込むと、約 2 秒間で 16 コマの画像を撮影します。画像は 4 × 4 コマに並べられ、1 枚の 2M （1600 × 1200）画像として記録されます。 • ピントと露出、ホワイトバランス (79) は 1 コマ目の画像を撮影した条件に固定されます。 • セルフタイマーは使用できません。

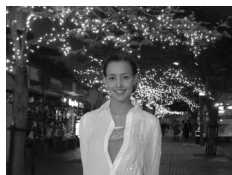
 (発光禁止) に固定 **OFF** に固定

スポーツモードについてのご注意

• スポーツモードでは、被写体が暗くても、AF 補助光は照射されません。
• シャッターボタンの半押しでピントが固定（AF ロック）されるまで、カメラは常にピント合わせを繰り返します。

夜景ポートレート

夕景や夜景をバックに人物を撮影したい場合に適しています。背景を黒くつぶすことなく、人物も背景も自然に表現できます。アシスト機能を使用すると、被写体が画面の中心になくても、ピントや露出のあった撮影が可能です。［**夜景ポートレート**］以外のアシスト機能では、被写体が暗くても、AF 補助光は照射されません。

夜景ポートレートでは次のアシスト機能が選択できます。

夜景ポートレート	画面にガイドは表示されません。画面の中央にある被写体にピントを合わせます。 • 被写体が画面の中央にない場合は、AF ロック撮影を行ってください（構図を変えて撮影するには：122）。
人物左	人物の顔を画面のやや左寄りにアップで撮影する場合に適しています。 • 画面に表示されるガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。
人物右	人物の顔を画面のやや右寄りにアップで撮影する場合に適しています。 • 画面に表示されるガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。
ウエストショット	人物を腰から上のアップで撮影する場合に適しています。 • 画面に表示されるガイドの顔と重なる部分にピントと露出を合わせます。
ツーショット	2 人並んだ人物を腰から上のアップで撮影する場合に適しています。 • 画面に表示される 2 つのガイドのうち、重なる部分の近い方にピントと露出を合わせます。
縦位置	人物を縦位置で撮影する場合に適しています。 • 画面に表示されるガイドの顔と重なる部分にピントと露出を合わせます。

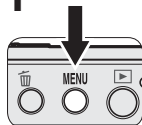
（赤目スローシンクロ強制発光）に固定	OFF に固定

夜景ポートレートについてのご注意

- 手ブレしないように、三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。
- シャッタースピードが遅い場合は、画像に星状のノイズが生じることがあります。このような場合は、自動的にノイズ除去が行われ、画像の記録時間が通常より長くかかります。

シーンモード

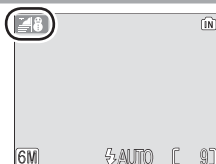
COOLPIX S4 では、「アシスト機能付きシーンモード」(32) の他に 12 種類のシーンモードが使用できます。シーンに合ったモードを選択するだけで、複雑な設定をしなくても思いどおりの撮影や音声レコードが簡単に楽しめます。シーンモードの選択方法は次のとおりです。

1

シーンモードの選択画面が表示されます。

2

マルチセレクターでシーンモードを選択します。

- 選択されているシーンモードのアイコンが明るく大きく表示されます。
- シーンモードの変更をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

3

選択したシーンモードにセットされ、撮影画面に戻ります。

- セットされたシーンモードのアイコンが画面の左上に表示されます。

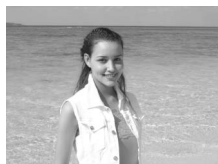
シーンモードの種類と特長

パーティー

パーティー会場などで、キャンドルライトを活かしてきれいに写すなど、被写体の背景を活かした雰囲気のある画像に仕上げます。

フラッシュ	マクロ	手ブレ
（赤目軽減自動発光）（全モードに変更可能）	OFF に固定	カメラをしっかり持ってください

海・雪

晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影します。

フラッシュ	マクロ	手ブレ
AUTO（自動発光）（全モードに変更可能）	OFF に固定	—

夕焼け

美しい赤い夕焼け（朝焼け）を見たままに美しく表現します。

フラッシュ	マクロ	手ブレ
（発光禁止）（全モードに変更可能）	OFF に固定	カメラをしっかり持ってください

表の中の ⚡ はフラッシュモード（28）、🌷 はマクロモード（31）、✋ は手ブレ度合い表示を示しています。

手ブレ度合い表示

画面に ✋（手ブレ警告）アイコンが表示された場合は、被写体が暗いためシャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすい撮影状況です。表に示した手ブレ度合い表示に応じて、次のように対処してください。

- ★：脇を締めて、カメラを固定するようにしっかりと持ってください。
- ★★：三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。

トワイライト（夜明け直前、日没）

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中で、風景を見たままに撮影します。

- 画像にノイズが発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われ、画像の記録時間が通常より長くかかります。
- 遠景にピントが合うようにセットされます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
- 被写体が暗くても、AF 補助光は照射されません。

 （発光禁止）に固定 OFF に固定 カメラをしっかり持ってください

夜景

夜景を撮影する際、スローシャッターで夜景の雰囲気を表現した写真を撮影できます。

- 画像にノイズが発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われ、画像の記録時間が通常より長くかかります。
- 遠景にピントが合うようにセットされます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
- 被写体が暗くても、AF 補助光は照射されません。

 （発光禁止）に固定 OFF に固定 三脚の使用をおすすめします

クローズアップ（接写）

草花や昆虫、小さな被写体などを接写したいときに使用します。

- 撮影画面に アイコンが緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約 4cm までの被写体にピントを合わせることができます。ズーム位置によって最短撮影距離は変化します。
- 最もカメラに近い被写体にピントが合います。
- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常にピント合わせを繰り返します。
- 約 40cm よりも近距離でフラッシュを使用すると、光が充分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。テスト撮影をして、液晶モニターで画像を確認してください。

 AUTO（自動発光）（全モードに変更可能） ON に固定 カメラをしっかり持ってください

ミュージアム（美術館、博物館など）

フラッシュの発光が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使用します。

- [BSS]（84）が自動的に [ON] になります。シャッターボタンを押し続けている間、最高 10 コマまで連続撮影し、その中からもっともシャープな 1 コマをカメラが自動的に選択して記録します。
- 博物館、美術館等によっては撮影が禁止されている場合があります。あらかじめご確認ください。
- 被写体が暗くても、AF 補助光は照射されません。

（発光禁止）に固定	OFF（ON に変更可能）	カメラをしっかり持ってください

打ち上げ花火

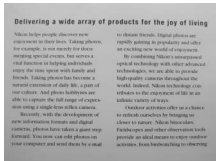
スローシャッターで、打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- 遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示が点灯します。
- セルフタイマー（30）は使用できません。
- 被写体が暗くても、AF 補助光は照射されません。

（発光禁止）に固定	OFF に固定	三脚の使用をおすすめします

モノクロコピー（白黒写真、名刺の複写など）

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影できます。

- マクロモード（31）を併用すると、近くのものを撮影できます。
- 撮影するものが赤色、青色などの場合、文字などが薄くなることがあります。

（発光禁止）（全モードに変更可能）	OFF（ON に変更可能）	—

逆光

内蔵フラッシュが常に発光し、逆光状態のときに、人物が影にならず美しく撮影できます。

（強制発光）に固定	OFF に固定	—

パノラマアシスト (44)

複数の画像を、最初に撮影した画像と同じホワイトバランスと露出で撮影します。撮影した複数の画像をパソコンに取り込み、PictureProject を使って 1 つの画像に合成することにより、パノラマ写真を作成できます。

- 1 コマ目を撮影してから一連の撮影が終わるまで、フラッシュモード (28)、マクロモード (31) の変更やズーム操作 (24) を行うことはできません。

	（発光禁止） （全モードに変更可能）		OFF （ON に変更可能）		—

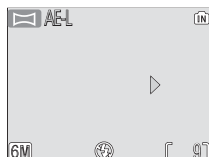
音声レコード (46)

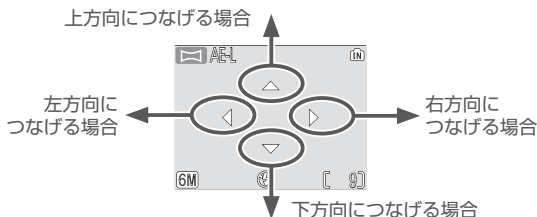
音声のみを内蔵メモリーまたは SD カードに録音したり、録音した音声を再生することができます。また、内蔵メモリーと SD カード間で、音声データをコピーすることもできます。

パノラマアシストモードの撮影手順

1

シーンモードの選択画面で、(パノラマアシスト)を選択します。

2

パノラマ方向表示 (▷) が黄色で表示されます。

3

マルチセレクターで画像をつなげる方向を選択します。OK を押すと、パノラマ方向が決定し、パノラマ方向表示が白色に変わります。

- パノラマ方向を変更したい場合は、もう一度 OK を押します (パノラマ方向表示が白色から黄色に変わります)。再度マルチセレクターでパノラマ方向を選択し、OK を押して設定します。

4

シャッターボタンを押して 1 コマ目の画像を撮影します。

5

撮影した画像の約 1/3 が、パノラマ方向の反対側の撮影画面上に、半透明で表示されます。たとえば、手順 3 で ▷ (右) 方向を選択した場合は、撮影画面の左端に、先に撮影した画像の右端約 1/3 が半透明で表示されます。

6

先に撮影した画像の絵柄と撮影画面の絵柄が重なるように、構図を合わせます。

7

シャッターボタンを押して次の画像を撮影します。6、7 の手順を繰り返して、パノラマ画像を構成するすべての画像を撮影します。

8

OK を押すと、パノラマアシスト撮影が終了します。

- モードセレクターを切り換えたり、オートパワーオフ機能が作動したときも、パノラマアシスト撮影は終了します。

パノラマアシストモード撮影のご注意

- フラッシュモード (28)、セルフタイマー (30)、マクロモード (31) は、パノラマ方向を設定した後にセットできます。
- 1 コマ目を撮影してから一連の撮影を終了するまで、パノラマ方向、フラッシュモード、マクロモード、画像モード (78) の変更やズーム操作を行うことはできません。画像の削除もできません。

三脚の使用をおすすめします

三脚を使用すると、組み合わせる画像の構図を合わせやすくなります。

露出固定表示

パノラマアシストモードに設定すると、撮影画面に AE-L アイコンが黄色で表示されます。1 コマ目を撮影すると、露出とホワイトバランスがその条件に固定され、AE-L アイコンは白色に変わります。一連の撮影が終わるまで、同じ条件で撮影を行います。

メモ **パノラマアシストモードで撮影された画像のファイル名とフォルダー名について (124)**

音声の録音と再生（音声レコード）

音声を録音する

COOLPIX S4 では、内蔵メモリーまたは SD カードに音声のみを録音することができます。

1

シーンモードの選択画面で 🎙（音声レコード）を選択します。

2

OK を押すと、音声レコード画面が表示されます。

- 液晶モニターに 🎙 アイコン、日時および録音可能な時間が表示されます。

3 シャッターボタンを押して録音を開始します。

- シャッターボタンをもう一度押すと、録音が終了します。内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなると、録音を自動的に終了します。
- 内蔵メモリーには約29分、SDカード(256MB以上)には最長5時間録音できます。
- OK を押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと再開します。一時停止中は、セルフタイマーランプおよび表示ランプが点滅します。
- 音声の録音中は、液晶モニターが消灯します。[□] ボタンを押すと、液晶モニターが点灯します。もう一度 [□] ボタンを押すと、液晶モニターが消灯します。

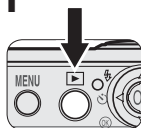
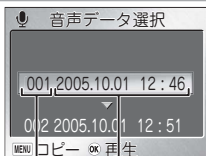
音声レコードについてのご注意

- ご使用の前に試し録音を行ってください。
- 内蔵メモリーまたは SD カードに 10 秒以上録音できる容量がない場合や、電池の残量が少ない場合には、音声を録音できません。

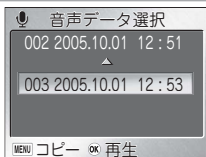
インデックス

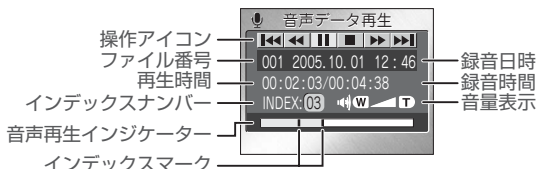
録音中にマルチセレクターを上下左右に倒すと、インデックスがつけられ、インデックスナンバーが表示されます。インデックスをつけると、カメラで音声を再生するときに頭出しができます。インデックスは録音の開始時点を 1 とし、マルチセレクターを倒すたびに連番になります。最大 98 のインデックスをつけることができます。

音声を再生する

1

シーンモードの音声レコード画面で ▶ ボタンを押します。

- 内蔵メモリーまたは SD カードに保存されている音声データが一覧で表示されます。
- 音声データの一覧表示中に ▶ ボタンを押すと、音声レコード画面に戻ります。

2

再生したい音声データを選択して ㈃ を押します。

3 音声データの再生画面が表示されます。

- ズームレバーで音量を調節できます。ズームレバーを **W** 方向に回すたびに音量は小さくなり、**T** 方向に回すたびに音量は大きくなります。
- インデックスマークは、録音時につけたインデックスの場所を示します。

音声データの再生画面では画面上部に操作アイコンが表示されます。マルチセレクターでボタンを選択し、㈃ を押すと、次の操作を実行します。

ボタン	機　能
❚❚	再生を一時停止します。
▶	再生を再開します。
◀◀	マルチセレクターで ◀◀ を選択して ㈃ を押し続けると、音声を巻き戻します。㈃ から指を離すと再生を再開します。
▶▶	マルチセレクターで ▶▶ を選択して ㈃ を押し続けると、音声を早送りします。㈃ から指を離すと再生を再開します。
❙◀◀	前のインデックスに戻ります。
▶▶❙	次のインデックスに進みます。
■	音声の再生を終了し、音声データの一覧画面に戻ります。

音声データをパソコンに保存する際のご注意

音声レコード機能により録音された音声データ（.wav）は、PictureProject を使用してパソコンに転送することができません。音声データ（.wav）は、USB 通信方式を［**Mass Storage**］に設定して、直接パソコンにコピーしてください。パソコンに保存された音声データ（.wav）は、QuickTime で再生することができます。PictureProject では再生できません。
また、音声録音中につけたインデックスは、カメラで再生する場合のみ、使用できます。パソコンで再生する場合は、インデックスのない音声データとなります。

音声データの削除について

音声の再生中に 🗑 ボタンを押すか、一覧表示中にマルチセレクターで削除したいファイルを選択して 🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。［**はい**］を選択して Ⓚ を押すと、音声データが削除されます。

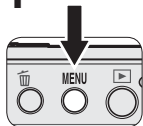
メモ 音声データのファイル名とフォルダー名について（124）

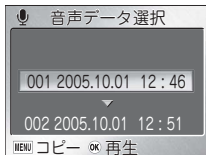
録音した音声をコピーする

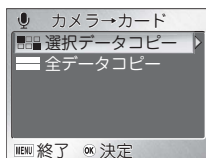
内蔵メモリーの音声データを SD カードに、SD カードの音声データを内蔵メモリーにコピーすることができます。
SD カードがカメラにセットされていないときは、このメニューは選択できません。

設　定	内　容
IN→SD	内蔵メモリーに記録されている音声データを SD カードへコピーします。内蔵メモリーのすべての音声データをコピーしたり、選択してコピーすることができます。
SD→IN	SD カードに記録されている音声データを内蔵メモリーへコピーします。SD カードのすべての音声データをコピーしたり、選択してコピーすることができます。

音声データを選択してコピーする

1

音声データの一覧表示画面で、MENU ボタンを押します。

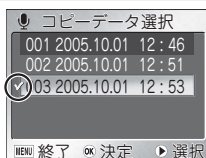
2

IN→SD または SD→IN を選択します。Ⓚ を押すと、コピー方法の選択画面が表示されます。

3

［**選択データコピー**］を選択します。Ⓞⓚ を押すと、コピー音声選択画面が表示されます。

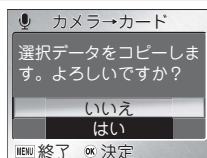
4

コピーしたい音声データを選択します。

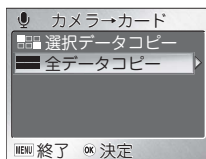
- コピー音声選択をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

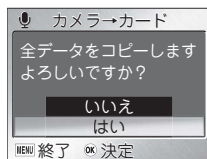
5

マルチセレクターを**右**に倒すと、選択した音声データの先頭に ✔ が付きます。

- 手順 4、5 を繰り返して、コピーしたいすべての音声データに ✔ を付けます。
- コピー設定を解除する場合は、解除したい音声データを選択してから**右**に倒して ✔ を外してください。

6

Ⓞⓚ を押すと、音声データコピーの確認画面が表示されます。［**はい**］を選択し、Ⓞⓚ を押すと、選択した音声データがコピーされます。

すべての音声データをコピーする

1

前ページの手順 1、2 を行い、コピー方法の選択画面で［**全データコピー**］を選択します。Ⓞⓚ を押すと、音声データコピーの確認画面が表示されます。

2

［**はい**］を選択し、Ⓞⓚ を押すと、すべての音声データがコピーされます。

音声データのコピーについてのご注意

他社製のカメラで録音した音声データに対しては、音声データコピー機能の動作は保証しておりません。

動画の撮影と再生

動画を選択する

COOLPIX S4 では、4 種類の動画を撮影できます。微速度撮影以外は、カメラの内蔵マイクを使用して、音声付きで撮影することができます。

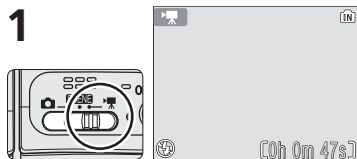
種　類	内　容	連続撮影記録時間※1	
		内蔵メモリー	SD カード
		約 13.5 MB	256 MB
TV 再生 640	カラーの動画を画像サイズ 640 × 480 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します（垂直補間方式）。テレビでの表示に適した画像サイズです。	24 秒※2	7 分 15 秒※2
カメラ再生 320（初期設定）	カラーの動画を画像サイズ 320 × 240 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します。	47 秒※2	14 分 15 秒※2
長時間再生 160	カラーの動画を画像サイズ 160 × 120 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します。画像サイズが小さいため、他の動画と比べて、より長時間の撮影が可能です。	2 分 38 秒※2	47 分 5 秒※2
微速度撮影	微速度撮影（54）では、設定された撮影間隔（インターバル）で静止画像の撮影を自動的に行い、撮影した複数の画像をつなげて画像サイズ 640 × 480 ピクセル、15 フレーム / 秒の動画として最長 120 秒間分（1800 フレーム）記録します。つぼみがゆっくりと花開く様子や、蝶が羽化する様子を、記録写真のように撮影したい場合に便利です。なお、微速度撮影時には音声は録音されません。	9 秒（143 フレーム）	120 秒（1800 フレーム）※3

※1 記載されている連続撮影記録時間はおおよその目安です。同じ容量でも SD カードの種類によって連続撮影記録時間は異なります。
※2 内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなるまで連続して撮影できます。
※3 連続撮影記録時間の表示は最大 999 までです。999 フレーム以上撮影できる場合でも 999 と表示されます。

動画メニューのヘルプを表示する

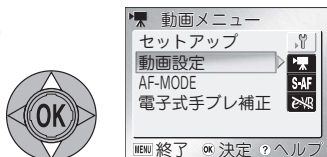
動画メニューを表示しているときにズームレバーを ?（T）方向に回すと、現在選択中のメニュー項目に関するヘルプ画面（33）が表示されます。

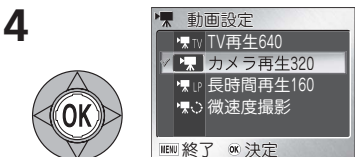
メモ 動画のファイル名とフォルダー名について（124）

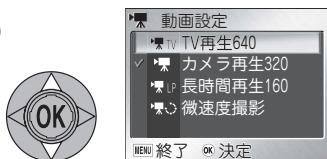
1

モードセレクターを 動画 に合わせます。

2

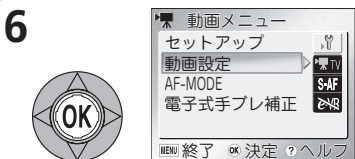
MENU ボタンを押すと、動画メニューが表示されます。

3

[**動画設定**] を選択します。

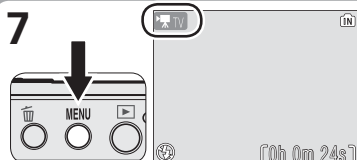
4

OK を押すと、動画設定の選択画面が表示されます。

5

動画モードを選択します。

- 動画モードの変更をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

6

OK を押すと、選択した動画モードにセットされます。

- [**微速度撮影**] を選択して OK を押すと、撮影間隔（インターバル）と露出固定を設定できます (54)。

7

撮影画面に戻ります。

- セットされた動画モードのアイコンが画面に表示されます。

AF-MODE

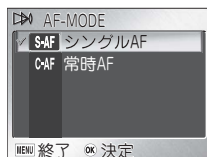
動画モードではオートフォーカスの方法（**AF-MODE**）を設定することができます。

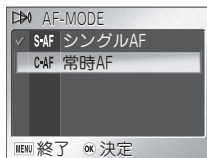
設　定	内　容
S-AF シングル AF （初期設定）	シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、半押し中はピントを固定（AF ロック）します。撮影を開始すると、シャッターボタンを押し込んだときのピントに固定され、撮影中はピント合わせを行いません。
C-AF 常時 AF	撮影中、常にピント合わせを繰り返します。 撮影中にカメラの動作音が録音されることがあります。動作音が気になる場合は、**シングル AF** に設定して撮影することをおすすめします。

「**AF-MODE**」を設定する方法は次のとおりです。

1

[**AF-MODE**] を選択します。

2

OK を押すと、AF-MODE 選択画面が表示されます。

3

[**シングル AF**] または [**常時 AF**] を選択します。

4

OK を押すと、選択した AF-MODE にセットされ、動画メニューに戻ります。

セットアップメニューについて

動画メニューで [**セットアップ**] を選択すると、セットアップメニューが表示されます（95）。日時設定やメニュー画面の見え方などを設定します。

動画メニューをアイコン表示する

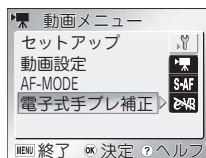
セットアップメニューの [**メニュー切り換え**]（109）を [**アイコンタイプ**] に設定すると、動画メニューの全項目をアイコンのみで表示することができます。

電子式手ブレ補正

動画撮影時（微速度撮影時を除く）の手ブレの影響を電子的に補正する「**電子式手ブレ補正**」を設定することができます。

設 定	内 容
e-VR ON	動画撮影時に、電子的に手ブレの影響を補正します。また、構図も決めやすくなります。
e-VR OFF（初期設定）	手ブレ補正は機能しません。

「**電子式手ブレ補正**」を設定する方法は次のとおりです。

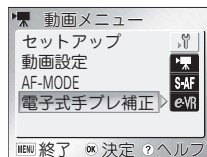
1

[**電子式手ブレ補正**] を選択します。

2

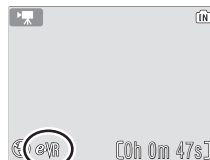
OK を押すと、電子式手ブレ補正画面が表示されます。

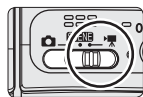
3

[**ON**] または [**OFF**] を選択します。

4

OK を押すと、選択した内容にセットされ、動画メニューに戻ります。

電子式手ブレ補正表示

電子式手ブレ補正を [**ON**] に設定すると、電子式手ブレ補正のアイコンが表示されます。

動画を撮影する

1

モードセレクターを 🎥 に合わせます。

- 画面の右下には撮影可能な記録時間が表示されます。

2

シャッターボタンを押し込んで、撮影を開始します。

- 撮影中は画面に ● REC アイコンが点滅し、撮影の進行状況を示すインジケーターが表示されます。

3

シャッターボタンをもう一度押し込んで、撮影を終了します。

- 内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなった場合は、撮影を自動的に終了します。

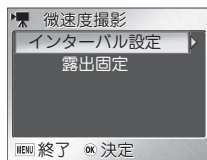
動画撮影についてのご注意

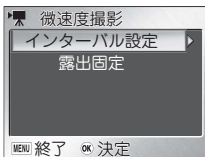
- セルフタイマー（☞ 30）は使用できません。
- フラッシュモード（☞ 28）は ⚡（発光禁止）にセットされます（微速度撮影を除く）。
- 動画撮影中は、光学ズームを使用できませんが、電子ズーム（☞ 24）は 2 倍まで作動します。光学ズームを使用したい場合は、撮影前に操作してください。撮影を始めると、光学ズーム位置は固定されます。

微速度撮影の撮影方法

1

動画設定の選択画面（☞ 50）で、[**微速度撮影**] を選択します。

2

Ⓚ を押すと、微速度撮影画面が表示されます。

3

［**インターバル設定**］または［**露出固定**］を選択して、Ⓞ を押します。微速度撮影の撮影間隔（インターバル）や露出固定のON/OFF を設定する画面が表示されます。

- **インターバル設定**：微速度撮影の撮影間隔（インターバル）を選択します。Ⓞ を押すと、選択した内容にセットされます。

- **露出固定**：［**ON**］に設定すると、すべてのフレームの撮影を終了するまで、露出とホワイトバランスが 1 フレーム目を撮影した条件に固定されます。また、フラッシュモード（28）は自動的に（発光禁止）になります。［**OFF**］に設定すると、露出とホワイトバランスは固定されません。Ⓞ を押すと、選択した内容にセットされます。

4

MENU ボタンを押して、撮影画面に戻ります。

5

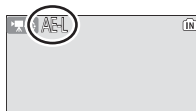
シャッターボタンを押し込んで撮影を開始します。設定された時間の撮影間隔（インターバル）で撮影を自動的に行い、動画画像として保存します。

- もう一度シャッターボタンを押すか、内蔵メモリーまたはSD カードの記録容量がなくなるか、1800 フレーム（120 秒間分）撮影すると、微速度撮影が終了します。

微速度撮影についてのご注意

- 微速度撮影時は、途中で電池の残量がなくなると撮影を終了するため、AC アダプターキット EH-62B（別売）（110）のご使用をおすすめします。
- 微速度撮影では、撮影から次の撮影までの間、液晶モニターが消灯します。設定した撮影間隔（インターバル）が経過する直前に、液晶モニターが自動的に点灯し、撮影を行います。

露出固定表示

露出固定を［**ON**］に設定すると、AE-L アイコンが撮影画面に黄色で表示されます。微速度撮影を開始すると、露出とホワイトバランスが 1 フレーム目の条件に固定され、AE-L アイコンは白色に変わります。

動画を再生する

1 コマ再生モード (27、57) 時に、 アイコンがついている画像を表示して ⓚ を押すと、動画を再生できます。

- 動画再生画面では画面上部に操作ボタンが表示されます。マルチセレクターでボタンを選択して ⓚ を押すと、以下の操作を実行します。

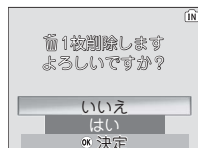
動画再生中

ボタン	機　能
◀◀	再生中に ◀◀ を選択して ⓚ を押し続けると、動画を巻き戻します。ⓚ から指を離すと再生を再開します。
▶▶	再生中に ▶▶ を選択して ⓚ を押し続けると、動画を早送りします。ⓚ から指を離すと再生を再開します。最後まで早送りすると、再生を終了します。
❚❚	再生を一時停止します。
◀❚❚	一時停止中に 1 フレーム前の画像を表示します。
❚❚▶	一時停止中に 1 フレーム後の画像を表示します。
▶	再生を再開します。
■	動画の再生を終了して、再生画面に戻ります。

音量を調節するには

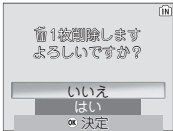
動画の再生中にズームレバーを使って音量を調節できます。ズームレバーを W 方向に回すたびに音量は小さくなり、T方向に回すたびに大きくなります。

動画ファイルの削除

動画の再生中、または 1 コマ再生モード (27) やサムネイル再生モード (57) で動画を表示しているときに 🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。[**はい**] を選択し、ⓚ を押すと、動画ファイルが削除されます。

いろいろな再生

カメラで再生する

画像を再生する（1 コマ再生モード）

撮影時に ▶ ボタンを押すと、「1 コマ再生モード」(☞ 27) になります。

- 電源が OFF の状態で ▶ ボタンを 1 秒以上押し続けると、1 コマ再生モードで電源が ON になります。

一覧表示する（サムネイル再生モード）

1 コマ再生モードでズームレバーを ▦(W) 方向に回すと、縮小表示された画像（サムネイル画像）が 4 コマ並んで表示される「サムネイル再生モード」になります。

機　能	操作	内　容
画像を選択する	（マルチセレクター）	マルチセレクターで画像を選択します。
表示コマ数を変更する	ズームレバー	• 4 コマ表示時にズームレバーを ▦(W) 方向に回すと、9 コマ表示になります。 • 9 コマ表示時にズームレバーを Q(T) 方向に回すと、4 コマ表示に、4 コマ表示時にズームレバーを Q(T) 方向に回すと、1 コマ表示（1 コマ再生モード）になります。
画像を削除する	🗑	削除確認画面で［**はい**］を選択し、OK を押すと、表示されている画像が削除されます。 （画面表示：1枚削除します よろしいですか？ いいえ はい OK 決定） • ［**いいえ**］を選択して OK を押すと、画像を削除せずに再生画面に戻ります。 • ［♪］は音声メモが録音された画像の場合のみ表示されます。音声メモのみを削除する方法については、「音声メモを録音する / 再生する」(☞ 61) をご覧ください。
1 コマ再生モードに戻る	OK	4 コマ表示または 9 コマ表示を終了して、1 コマ再生モードに戻ります。
サムネイル再生を終了する	▶	サムネイル再生を終了して、モードセレクターに対応した撮影画面が表示されます。

カメラの内蔵メモリーの画像を再生する

内蔵メモリーに記録された画像は、次のどちらかの方法で再生してください。

- SD カードをカメラから取り出して再生する。
- 内蔵メモリーの画像を SD カードにコピーして再生する。

画像を拡大する（拡大表示モード）

1 コマ再生モード時にズームレバーを Q(T) 方向に回すと、表示中の画像を最大約 10 倍まで拡大表示できます。

機　能	操作	内　容
画像を拡大表示する	ズームレバー	ズームレバーを Q(T) 方向に回すたびに、画像を拡大表示します。最大約 10 倍まで拡大できます。拡大表示中は Q アイコンと拡大倍率が液晶モニターに表示されます。
画像の他の部分を表示する	OK	マルチセレクターを倒すと、倒した方向に画像がスクロールし、見たい部分を表示することができます。
拡大倍率を下げる	ズームレバー	拡大表示中にズームレバーを (W)方向に回すと、拡大倍率が下がります。倍率が 1 倍まで下がると、1 コマ再生モードに戻ります。
1 コマ再生モードに戻る	OK	拡大表示中に OK を押すと、拡大表示をキャンセルして 1 コマ再生モードに戻ります。
トリミング画像を作成する (59)	シャッターボタン	拡大表示中にシャッターボタンを押すと、画像を表示部分だけにトリミングして、元の画像とは別の画像として保存します。

別の画像を見るときは、1 コマ再生モードに戻ってから、マルチセレクターで画像を選択してください。

拡大表示についてのご注意

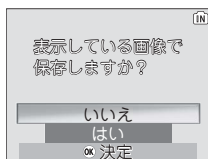
動画 (56)、スモールピクチャー (92) は、拡大表示できません。

画像の一部を切り抜く：トリミング

拡大表示中の画像を表示部分だけにトリミング（切り抜き）して、元の画像とは別に新しく画像を作成します。

1

画像を拡大している時に、ズームレバーで画像を好みの大きさにし、マルチセレクターでトリミングしたい部分を表示します。

2

シャッターボタンを押すと、トリミングの実行確認画面が表示されます。

3

[**はい**] を選択し、Ⓚ を押すと、トリミングした画像が作成されます。

- トリミングで作成された画像は、JPEG 形式で約 1/8 に圧縮して保存されます。
- トリミングで作成される画像のサイズは、拡大倍率により異なります。次のうちから最適なサイズをカメラが自動的に選択します（単位：ピクセル）。
  - 5M 2592 × 1944
  - 3M 2048 × 1536
  - 2M 1600 × 1200
  - 1M 1280 × 960
  - PC 1024 × 768
  - TV 640 × 480
  - 320 × 240
  - 160 × 120
- トリミングで作成された画像の撮影日時は、元の画像と同じです。

トリミングについてのご注意

- COOLPIX S4 以外のデジタルカメラで撮影された画像に対しては、トリミング機能の動作は保証しておりません。また、COOLPIX S4 でトリミングした画像は、COOLPIX S4 以外のデジタルカメラでの再生やパソコンへの転送が正常に行えない場合があります。
- 内蔵メモリーまたは SD カードに充分な残量がない場合や、元画像がトリミングで作成された画像、スモールピクチャー（☞ 92）、または動画（☞ 56）の場合には、トリミングすることはできません。
- 元画像に設定されていた転送マーク（☞ 91、107）は、トリミングで作成した画像にも設定されますが、元画像で設定した［**プリント指定**］（☞ 68）と［**プロテクト設定**］（☞ 90）は、トリミングで作成した画像には設定されません。

メモ **トリミングした画像のファイル名とフォルダー名について（☞ 124）**

画像の階調を補正する：D- ライティング

1 コマ再生モード時に ⓞ ボタンを押すと、元画像とは別に、表示している画像の階調（明るさ）を補正（D- ライティング）した画像を作成することができます。D- ライティング機能を使うと、逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体だけを明るく補正します。

1

1 コマ再生モード時に ⓞ ボタンを押すと、D- ライティングの実行画面が開き、元画像と画像補正後の画像が並んで表示されます。

• D- ライティングできる画像には、ⓞ:（D- ライティングガイド）が表示されます。

2

保存終了

［**実行**］を選択し、ⓞ を押すと、D- ライティングで階調を補正した画像が作成されます。

• D- ライティング済みの画像には、（D- ライティング済みマーク）が表示されます。

• D- ライティングで作成された画像の撮影日時は、元の画像と同じです。

D- ライティングで作成された画像についてのご注意

• COOLPIX S4 以外のデジタルカメラで撮影された画像に対しては、D- ライティング機能の動作は保証しておりません。また、COOLPIX S4 で D- ライティングを行った画像は、COOLPIX S4 以外のデジタルカメラでの再生やパソコンへの転送が正常に行えない場合があります。

• 内蔵メモリーまたは SD カードに充分な残量がない場合や、元画像がトリミングで作成された画像（59）、スモールピクチャー（92）、D- ライティングで作成された画像、または動画（56）の場合には、D- ライティングはできません。

• 元画像に設定されていた転送マーク（91、107）は、D- ライティングで作成した画像にも設定されますが、元画像で設定した［**プリント指定**］（68）と［**プロテクト設定**］（90）は、D- ライティングで作成した画像には設定されません。

メモ **D- ライティングした画像のファイル名とフォルダー名について（124）**

音声メモを録音する / 再生する

1コマ再生モード (27) で、[▲:🎙] (音声メモ録音ガイド) アイコンが表示されている画像には、カメラのマイクを使用して、最長約 20 秒の音声メモを録音することができます。

機　能	操作	内　容
録音する	シャッターボタン	シャッターボタンを押している間、最長約 20 秒の音声メモを録音できます。シャッターボタンから指を離すか、約 20 秒経過すると、録音が終了します。 • 音声メモを録音できる画像には、[▲:🎙] が表示されます。 • 録音中は ● REC が点滅します。
再生する	シャッターボタン	音声メモが録音された画像には [♪] アイコンと [▲:♪] (音声メモ再生ガイド) が表示されます。 音声メモが録音された画像を表示してシャッターボタンを押すと、音声メモを再生します。もう一度押すか、音声メモが終了すると再生を終了します。
音量を調節する	ズームレバー	音声メモの再生中にズームレバーで音量を調節できます。ズームレバーを **W** 方向に回すたびに音量は小さくなり、**T** 方向に回すたびに音量は大きくなります。
音声メモ / 画像を削除する	🗑	音声メモが記録された画像を表示中に、🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターで次のいずれかを選択し、OK を押すと、選択した項目が実行されます。 • **はい**：画像と音声メモが削除されます。 • [♪]：音声メモだけが削除されます。 • **いいえ**：画像と音声メモは削除されません。

音声メモについてのご注意

- サムネイル再生モード (57)、拡大表示モード (58) では、音声メモの録音や再生はできません。
- 動画 (56) には音声メモを録音できません。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。この場合、いったん音声メモだけを削除してから、再度音声メモを録音してください。

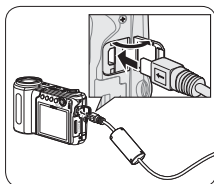
メモ 音声メモのファイル名とフォルダー名について (124)

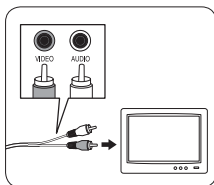
テレビで再生する

付属のオーディオビデオケーブル EG-CP14（以下 AV ケーブル）を使用して、撮影した画像をテレビやビデオデッキで再生することができます。

1 カメラの電源を OFF にする

2 AV ケーブルをカメラに接続する

- 端子カバーを開け、AV ケーブルの黒いプラグをカメラのケーブル接続端子に接続します。

3 AV ケーブルを映像機器に接続する

- AV ケーブルの黄色のプラグをテレビやビデオデッキなどの映像入力端子に、白色のプラグを音声入力端子に接続します。

4 映像機器の入力をビデオ入力または外部入力に切り換える

- 詳しくは映像機器の使用説明書をご覧ください。

5 ▶ ボタンを 1 秒以上押して、再生モードでカメラの電源を ON にする

- 撮影した画像がテレビに表示され、カメラの液晶モニターには何も表示されません。

ビデオ出力について

- カメラとテレビまたはビデオデッキを接続する前に、セットアップメニューの［**インターフェース**］の［**ビデオ出力**］(107) で、ビデオ出力形式をご確認ください (初期設定は［**NTSC**］です)。
- 長時間テレビで再生する場合は、確実に電力を供給できる AC アダプターキット EH-62B（別売）(110) のご使用をおすすめします。
- ［**インターフェース**］の［**ビデオ出力**］を［**PAL**］に設定している場合、COOLPIX S4 とテレビまたはビデオデッキとの接続中に動画撮影を開始すると、カメラの液晶モニターが点灯して、ビデオ出力は一時停止します。

パソコンで再生する

付属の USB ケーブル UC-E6 と PictureProject（ソフトウェア）を使用して、カメラで撮影した画像をパソコンに転送して再生できます。画像を転送する前に、PictureProject をパソコンにインストールする必要があります。インストールの方法および画像の転送方法については、簡単操作ガイドおよび PictureProject ソフトウェア使用説明書 CD-ROM（銀色）をご覧ください。

カメラの USB 通信方式を設定する

カメラとパソコンを接続する前に、画像を転送する方法に合わせてカメラの USB 通信方式を設定します。カメラからパソコンへ画像を転送するには、次の 2 つの方法があります。

- **カメラの Ⓞ（転送 ）ボタンを使用する方法**
- **PictureProject の [転送] ボタンを使用する方法**

以下の表と次のページの操作手順をご覧になり、ご使用の OS（オペレーティングシステム）に適した USB 通信方式を設定してください。初期設定では [**Mass Storage**] に設定されています。

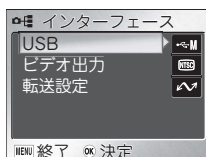
カメラの Ⓞ（転送 ）ボタン

OS（オペレーティングシステム）	カメラの Ⓞ※（転送 ）ボタン	PictureProject の [転送] ボタン
	USB 通信方式	
Windows XP Home Edition Windows XP Professional	Mass Storage または PTP	Mass Storage または PTP
Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition (Me) Windows 98 Second Edition (SE)	Mass Storage	Mass Storage
Mac OS X（10.1.5 以降）	PTP	Mass Storage または PTP

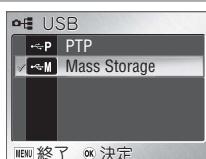
※ 以下の場合、カメラの Ⓞ（）ボタンは使用できません。PictureProject の [転送] ボタンで転送してください。

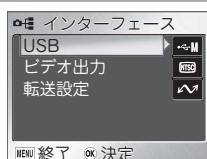
- 内蔵メモリーを使用し、[**USB**] の設定を [**Mass Storage**] にしている場合。
- SD カードの書き込み禁止スイッチが、「Lock」の位置になっている場合（「Lock」を解除するとカメラの Ⓞ（）ボタンを使用できます）。

USB 通信方式の設定方法

1

セットアップメニューで、[**インターフェース**]（107）を選択し、OK を押すと、インターフェース設定画面が表示されます。[**USB**] を選択します。

- セットアップメニューを表示する方法については「セットアップメニューの表示方法」（96）をご覧ください。

2

OK を押すと、USB 設定画面が表示されます。[**PTP**] または [**Mass Storage**] を選択します。

3

OK を押して、USB 通信方式を設定します。

Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition (Me)、Windows 98 Second Edition (SE) をご使用の場合のご注意

上記の OS をご使用の場合には、[**インターフェース**] の [**USB**] を [**PTP**] に設定しないでください。
[**USB**] を [**PTP**] に設定して、上記 OS のパソコンと接続した場合には、次の要領でパソコンとの接続を外してください。
再度パソコンと接続する場合は、必ず [**USB**] を [**Mass Storage**] に変更してから、パソコンと接続してください。

Windows 2000 Professional の場合：
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されるので、「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows Millennium Edition（Me）の場合：
「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されるので、「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows 98 Second Edition（SE）の場合：
「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されるので、「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

内蔵メモリーに記録された画像を転送するには

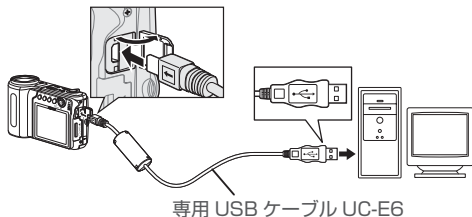
内蔵メモリーに記録されている画像をパソコンに転送する場合は、カメラから SD カードを取り出してください。

USB ハブについて

USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

専用 USB ケーブルでパソコンに接続する

カメラの電源が OFF になっていることを確認して、カメラと起動済みのパソコンを専用 USB ケーブルで下図のように接続します。接続が完了したらカメラの電源を ON にします。

専用 USB ケーブル UC-E6

画像をパソコンに転送する

パソコンのモニター画面に PictureProject Transfer 画面が表示されているときに、PictureProject の転送ボタンまたはカメラの ⓚ(転送マーク) ボタンを押すと、画像をパソコンに転送することができます。

カメラの ⓚ(転送マーク) を使用する方法

パソコンのモニター画面に PictureProject Transfer が表示されているときに、カメラの ⓚ(転送マーク) ボタンを押します。

(転送マーク)(91、107)のついた画像がパソコンに転送されます。

カメラの ⓚ(転送マーク) ボタンを押すと、転送が開始され、液晶モニターには次のように表示されます。

カメラとパソコンの接続時のご注意

カメラとパソコンを接続している間は、

- USB ケーブルを抜かないでください。
- カメラの電源を OFF にしないでください。
- 電池や SD カードをカメラから取り出さないでください。
- AC アダプターの電源コードを抜かないでください。

カメラおよびパソコンが正常に作動しなくなる場合があります。

画像転送時の電源について

カメラとパソコンを接続して画像を転送する場合は、確実に電力を供給できる AC アダプターキット EH-62B（別売）(110)のご使用をおすすめします。

カメラとパソコンの接続を外す

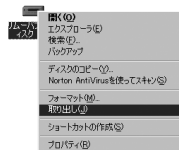
USB 通信方式が PTP の場合：
カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

USB 通信方式が Mass Storage の場合：
必ず次の操作を行ってから、カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

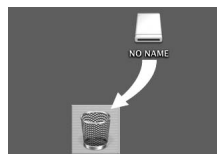
- Windows XP Home Edition／Professionalの場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置デバイス—ドライブ (E:) ※を安全に取り外します」を選択してください。

- Windows 2000 Professional の場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置デバイスードライブ (E:) ※を停止します」を選択してください。

- Windows Millennium Edition (Me) の場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして、「USB ディスクードライブ (E:) ※の停止」を選択してください。

- Windows 98 Second Edition (SE) の場合：
  マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。

※ ドライブ (E:) の「E」はご使用のパソコンによって異なります。

- Mac OS X の場合：
  デスクトップ上の「NO NAME」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

いろいろな再生

画像をプリントする

内蔵メモリーまたはSDカードに記録した画像は、従来の写真のようにプリントしたり、日付を入れてプリントすることができます。

プリントするには

撮影した画像は、次の方法でプリントすることができます。

<table>
<tr><th>プリントする方法</th><th>SDカード</th><th>内蔵メモリー</th><th></th></tr>
<tr><td>デジタルプリントサービス取扱店に依頼する</td><td>［プリント指定］※1でDPOF設定したSDカードをデジタルプリントサービス取扱店に持参してプリントを依頼します。</td><td rowspan="2">SDカードに画像をコピー（94）して※2、左記の方法でプリントします。</td><td>68</td></tr>
<tr><td>カードスロット付き家庭用プリンターでプリントする</td><td>［プリント指定］※1でDPOF設定したSDカードをカードスロット付きプリンターにセットしてプリントします。</td><td>68</td></tr>
<tr><td>PictBridge対応プリンターを使う</td><td colspan="2">カメラを付属のUSBケーブルでPictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンターに直接接続してプリントします。</td><td>70</td></tr>
<tr><td>パソコンに画像を転送してプリントする</td><td colspan="2">詳しくは、PictureProjectソフトウェア使用説明書（CD-ROM）をご覧ください。</td><td>—</td></tr>
</table>

※1［**プリント指定**］を設定しない場合は、すべての画像が1枚ずつプリントされます。
※2［**プリント指定**］を行った画像をコピーしても、設定した内容はコピーされません。画像をコピーしてから［**プリント指定**］を行ってください。

DPOFについて

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）は、デジタルカメラで撮影した画像の中からプリントする画像や枚数、撮影情報、日付の情報をメモリーカードまたは内蔵メモリーに記録するためのフォーマットです。［**プリント指定**］どおりにプリントする場合は、デジタルプリントサービス取扱店またはご使用のプリンターがDPOFに対応しているか、あらかじめご確認ください。

メモ **写真に日付を写し込んでプリントするには****（125）**

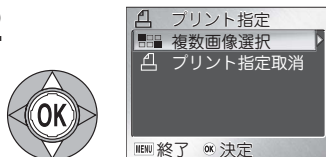
プリント指定

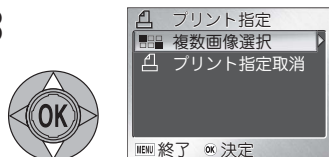
プリントする画像の選択、枚数の指定、撮影日時や撮影情報を写し込むかどうかなど、撮影画像をプリントするための設定をあらかじめ行うことができます。

［**プリント指定**］したSDカードを、デジタルプリントサービス取扱店に持ち込むか、家庭用のDPOF（67）対応プリンターのカードスロットに装着することによって、指定どおりにプリントすることができます。また、カメラとPictBridge対応のプリンターを接続してプリントするときも［**プリント指定**］の設定を使用できます。

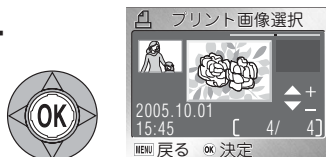
1

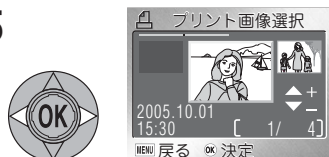
画像の再生時に MENU ボタンを押して、再生メニューを表示します。

2

［**プリント指定**］を選択して Ⓚ を押すと、プリント指定メニューが表示されます。

3

［**複数画像選択**］を選択します。

- ［**プリント指定取消**］を選択すると、すべてのプリント指定を取り消します。

4

Ⓚ を押すと、プリント画像選択画面が表示されます。

5

プリントしたい画像を選択します。

- 画面中央に選択した画像が表示されます。

6

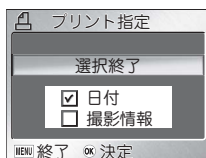
マルチセレクターを**上**に倒して、プリント枚数を設定します。

- 設定された画像には 1（枚数）と 凸 アイコンが表示されます。

7

必要に応じて、プリント枚数を変更します。

- マルチセレクターを**上**に倒すとプリント枚数は増え（最高 9 枚）、**下**に倒すと減ります。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数と 凸 アイコンが消えるまで、**下**に倒します。
- 手順 5 ～ 7 を繰り返して、プリントする画像と枚数を設定します。

8

OK を押すと画像の選択が完了し、プリント指定画面が表示されます。マルチセレクターでプリント時に印字する情報を選択します。

- 選択した画像すべてに撮影日をプリントする場合は、[**日付**] を選択して OK を押し、[**日付**] の前の □ に ✔ を入れます。
- 選択した画像すべてにシャッタースピードと絞り値をプリントする場合は、[**撮影情報**] を選択して OK を押し、[**撮影情報**] の前の □ に ✔ を入れます。
- 選択した項目の ✔ を解除するには、その項目を選択して OK を押します。
- プリント指定を終了する場合は、[**選択終了**] を選択して OK を押します。
- プリント指定を変更せずに終了する場合は、MENU ボタンを押します。

9

プリント指定した画像には、再生時にプリント指定アイコンが表示されます。

プリント指定のリセット

プリント指定を設定した後、再度プリント指定画面（手順 8 の画面）を表示しないでください。再表示すると、[**日付**] と [**撮影情報**] の設定はリセットされますので、もう一度設定してください。

ダイレクトプリント

このカメラは、PictBridge のダイレクトプリント機能を搭載しています。カメラと PictBridge 対応プリンターを、付属の USB ケーブル UC-E6 で接続することで、内蔵メモリーまたは SD カードに記録した画像を、パソコンを介さずにカメラからの操作で直接プリントできます。

ダイレクトプリントは、次の手順で行います。

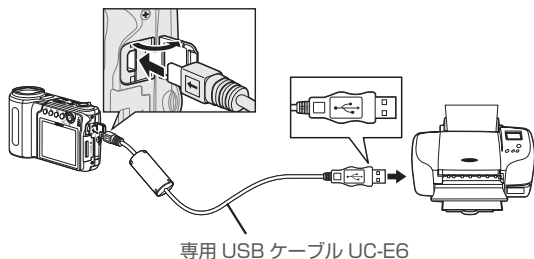
Step 1 USB 通信方式を PTP に設定する

カメラとプリンターを接続する前に、USB 通信方式を [**PTP**] に設定してください。(初期設定は [**Mass Storage**] です) (64)。

Step 2 専用 USB ケーブルでプリンターに接続する

カメラの電源が OFF になっていることを確認して、カメラとプリンターを専用 USB ケーブル UC-E6 で下図のように接続します。

専用 USB ケーブル UC-E6

いろいろな再生

PictBridge とは

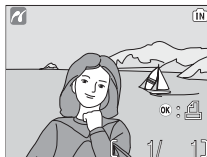
PictBridge とは、デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずにプリンターで直接印刷するための標準規格です。

ダイレクトプリント時の電源について

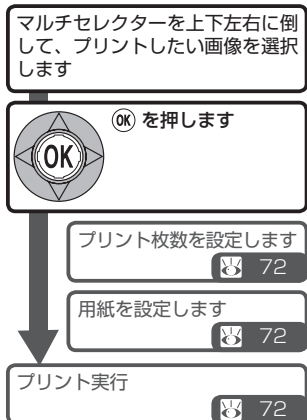
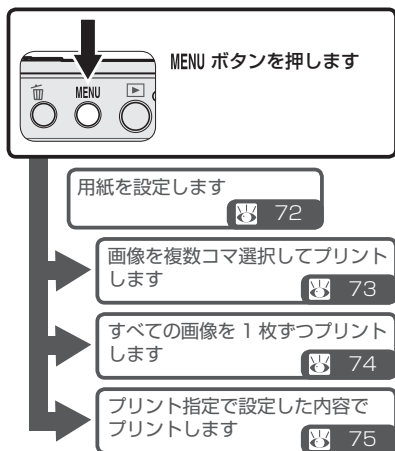
カメラとプリンターを接続してダイレクトプリントする場合は、確実に電力を供給できる AC アダプターキット EH-62B（別売）(110) のご使用をおすすめします。

Step 3 接続が完了したら、カメラとプリンターの電源を ON にする

カメラの液晶モニターに PictBridge 画面オープニング画面が表示された後、PictBridge の 1 コマ再生画面が表示されます。

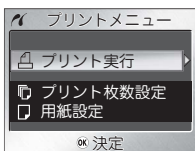
は PictBridge のロゴです。

- ズームレバーを (W) 方向に回すと、縮小表示された画像（サムネイル画像）が 6 コマ並んで表示される PictBridge のサムネイル再生画面が表示されます。(T) 方向に回すと、1 コマ再生画面に戻ります。

Step 4 プリントする

画像を 1 コマだけ選んでダイレクトプリントする場合

複数の画像をダイレクトプリントする場合

いろいろな再生

● 画像を 1 コマだけ選んでダイレクトプリントする場合

再生画面で画像を選んで ⓞⓚ を押すと、プリントメニューが表示されます。枚数やプリントする用紙のサイズを指定することができます。

1

プリントメニューで［**プリント実行**］を選択します。

- 画像を複数枚プリントする場合は、［**プリント枚数設定**］を選択して ⓞⓚ を押すと、枚数の設定画面が開きます。マルチセレクターを**上**または**下**に倒して枚数を設定し（最高 9 枚まで）、ⓞⓚ を押して決定します。

- 画像をプリントする用紙サイズを設定する場合は、［**用紙設定**］を選択して ⓞⓚ を押すと、用紙設定画面が開きます。マルチセレクターでプリント用紙のサイズを選択し、ⓞⓚ を押して決定します。

  （プリンター側で選択、または標準設定されている用紙サイズに設定する場合は［**プリンターの設定**］を選択します。）

2

ⓞⓚ を押すと、プリントを開始します。

- プリント中に ⓞⓚ を押すと、プリントを中止できます。
- プリントが終了すると、「プリント終了」という画面が約 2 秒間表示され、その後再生画面に戻ります。カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンターの接続を外してください。

選択できる用紙サイズについて

用紙設定画面では、［**プリンターの設定**］以外に、［**L**］、［**2L**］、［**ハガキ**］、［**100mm × 150mm**］、［**4 × 6 in.**］、［**8 ×10 in.**］、［**Letter**］、［**A3**］、［**A4**］のうち、プリンター側でサポートされている用紙サイズが選択できます。

● 複数の画像をダイレクトプリントする場合

再生画面で MENU ボタンを押すと、PictBridge メニューが表示されます。PictBridge メニューでは、複数の画像をプリントする方法を選択することができます。

設　定	内　容
プリント選択	内蔵メモリーまたは SD カードのプリントしたい画像を選択してプリントします。枚数を設定することができます。
全画像プリント	内蔵メモリーまたは SD カードの画像をすべて 1 枚ずつプリントします。
DPOF プリント	あらかじめ [**プリント指定**] (68) で選択した画像とプリント枚数どおりにダイレクトプリントします。

画像をプリントする用紙サイズを設定する場合は、[**用紙設定**] を選択して ㊍ を押すと表示される用紙設定画面 (72) で設定できます。

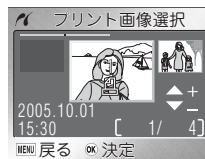
◆ 画像を選んでダイレクトプリントするには

1

PictBridge メニューで [**プリント選択**] を選択して ㊍ を押すと、プリント画像選択画面が表示されます。

2

プリントしたい画像を中央に表示させます。

3

マルチセレクターを**上**に倒して、プリント枚数を設定します。

- 設定された画像には 1（枚数）と 凸 アイコンが表示されます。

4

必要に応じて、プリント枚数を変更します。

- マルチセレクターを**上**に倒すとプリント枚数は増え（最高 9 枚）、**下**に倒すと減ります。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が 1 のときに**下**に倒します。
- 手順 2 ～ 4 を繰り返して、プリントする画像と枚数を設定します。
- プリントせずに PictBridge の設定画面に戻る場合は MENU ボタンを押します。

5

OK を押すと、選択した画像が縮小表示されます。マルチセレクターで画像を確認します。

- 画像を選択する画面に戻るには、MENU ボタンを押します。

6

画像の確認終了後、OK を押すと、プリントを開始します。

- プリント中に OK を押すと、プリントを中止できます。
- プリントが終了すると、「プリント終了」という画面が約 2 秒間表示され、PictBridge メニューに戻ります。カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンターの接続を外してください。

◆ すべての画像を 1 枚ずつダイレクトプリントするには

PictBridge メニューで［**全画像プリント**］を選択して OK を押すと、内蔵メモリーまたは SD カードのすべての画像が 1 枚ずつプリントされます。

- プリント中に OK を押すと、プリントを中止できます。
- プリントが終了すると、「プリント終了」という画面が約 2 秒間表示され、PictBridge メニューに戻ります。カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンターの接続を外してください。

◆「プリント指定」(☞ 68)で指定した画像をダイレクトプリントするには

1

PictBridge メニューで [**DPOF プリント**] を選択して ⓞⓚ を押すと、DPOF プリント画面が表示されます。

2

[**画像の確認**] を選択します。

- [**プリント実行**] を選択して ⓞⓚ を押すと、プリントがすぐに開始されます。

3

ⓞⓚ を押すと、[**プリント指定**] で指定した画像が縮小表示されます。マルチセレクターで画像を確認します。

4

プリント中
002/006
キャンセル

画像の確認終了後、ⓞⓚ を押すと、プリントを開始します。

- プリント中に ⓞⓚ を押すと、プリントを中止できます。
- プリントが終了すると、「プリント終了」という画面が約 2 秒間表示され、PictBridge メニューに戻ります。カメラの電源を OFF にして、カメラとプリンターの接続を外してください。

「DPOF プリント」でダイレクトプリントする場合のご注意

- 内蔵メモリーまたは SD カードに記録した画像に [**プリント指定**] を設定していない場合は、[**DPOF プリント**] を選択できません。
- ダイレクトプリントの場合、[**プリント指定**] で撮影情報の印字を設定しても、撮影情報はプリントされません。

撮影メニュー

撮影メニューでは、以下の項目が設定できます。

メニュー項目	内　容	👁
画像モード	画像サイズと画質の組み合わせを選択します。	78
ホワイトバランス	撮影時の照明光に合わせて画像の色合いを調整します。	79
露出補正	明るい被写体、暗い被写体、コントラストの強い被写体などに対して画像の明るさを調整します。	80
連写	撮影方法を 1 コマ撮影、連続撮影、16 コマを連続撮影して 1 枚の画像に記録するマルチ連写、設定された撮影間隔で撮影するインターバル撮影の中から選択します。	81
BSS	手ブレの影響が少ない画像や露出が適正な画像を、カメラが自動的に選択して記録する機能を設定します。	84
ISO 感度設定	撮影目的に応じて感度を設定します。	85
ピクチャーカラー	撮影する画像の色調を設定します。	86
セットアップ	セットアップメニューを表示します。	95

撮影メニューのヘルプを表示する

撮影メニューを表示しているときにズームレバーを ❓ (T) 方向に回すと、現在選択中のメニュー項目に関するヘルプ画面 (👁 33) が表示されます。

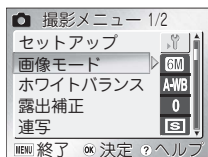
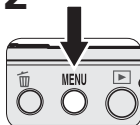
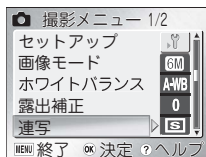
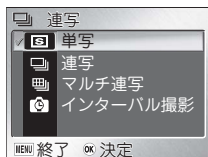
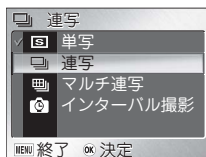
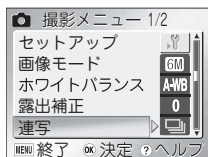
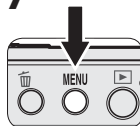
撮影メニューをアイコン表示する

セットアップメニューの [**メニュー切り換え**] (👁 109) を [**アイコンタイプ**] に設定すると、撮影メニューの全項目を 1 画面にアイコンのみで表示することができます。

初期設定に戻すには

撮影メニューで設定した内容を初期設定に戻すには、セットアップメニューの [**設定クリアー**] (👁 108) を行ってください。

撮影メニューの設定方法

モードセレクターを 📷 に合わせます。

MENU ボタンを押すと、撮影メニューが表示されます。

設定したい撮影メニューを選択します。

OK を押すと、詳細項目の設定画面が表示されます。

設定したい項目を選択します。

OK を押すと、選択した項目が設定されます。

撮影メニューを終了して撮影画面に戻るには、MENU ボタンを押します。

- 撮影メニューを終了して再生画面を表示するには、▶ ボタンを押します。

画像モード

デジタルカメラで撮影された画像は、画像ファイルとして記録されます。画像ファイルの大きさは、画像サイズと画質（画像の圧縮率）によって決まります。このカメラでは、画像サイズと画質を組み合わせた画像モードを、次の5種類から選択できます。目的に合った画像モードを選択することで、内蔵メモリーやSDカードを有効に利用できます。

画像モード	画像サイズ（ピクセル） 圧縮率	内容	プリント時のサイズ※
6M★ 高画質（2816★）	2816 × 2112 約 1/4	画像を拡大する場合や、細かい模様をプリンターで表現したい場合に適しています。	約 24 × 18cm
6M 標準（2816）	2816 × 2112 約 1/8	標準的な画質です。通常の撮影にはこの画像モードが適しています。	約 24 × 18cm
3M エコノミー（2048）	2048 × 1536 約 1/8	標準よりも画像サイズが小さいため、より多くの撮影が行えます。	約 17 × 13cm
PC パソコン（1024）	1024 × 768 約 1/8	パソコンのモニターに表示する場合に適しています。	約 9 × 7cm
TV TV（640）	640 × 480 約 1/8	電子メールやホームページに利用する場合や、テレビ画面に表示する場合に適しています。	約 5 × 4cm

※ 出力解像度を300dpiに設定した場合のサイズです。ピクセル数÷出力解像度（dpi）× 2.54cmで計算しています。
撮影した画像を印刷するときのプリントのサイズは、プリンターの出力解像度によって変わります（解像度が高いほどプリントのサイズは小さくなります）。

画像モード表示

設定した画像モードは、画面の左下に表示されます（12）。

メモ

- 画像モードと記録可能コマ数について（123）
- 画像サイズについて（123）
- 画像と圧縮について（123）

A-WB ホワイトバランス

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。初期設定の［**オート**］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思いどおりの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

- ホワイトバランスの各項目（［**オート**］と［**フラッシュ**］を除く）を選択すると、液晶モニターに表示中の画像に反映されるため、確認しながらホワイトバランスを設定することができます。

設定	内容
A-WB **オート**	照明の状態に合わせて、カメラがホワイトバランスを自動的に調整するため、ほとんどの場面で使用できます。
PRE **プリセット**	撮影者が選択した白やグレーの被写体にホワイトバランスを合わせます（80）。
晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
電球	白熱電球を灯している室内での撮影に適しています。
蛍光灯	蛍光灯を灯している室内での撮影に適しています。
曇天	曇り空の下での撮影に適しています。
フラッシュ	フラッシュを発光させて撮影する場合に適しています。

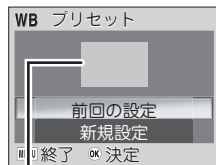
ホワイトバランス表示

ホワイトバランスを［**オート**］以外に設定すると、設定したホワイトバランスのアイコンが表示されます（12）。

PRE プリセットホワイトバランス

ホワイトバランス測定窓

プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下でホワイトバランスを調整する場合に使います（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など）。

ホワイトバランスメニューから［**プリセット**］を選ぶと、レンズが望遠側にズーミングして、プリセットホワイトバランス設定画面が表示されます。

設　定	内　容
前回の設定	前回プリセットされたホワイトバランスに設定します。
新規設定	新規にホワイトバランス値を測定します。撮影時に用いる照明の下で、白やグレーの被写体をホワイトバランス測定窓に映します。［**新規設定**］を選択し、㊍ を押すと、プリセットホワイトバランス値を測定します。プリセット中はシャッター音がして、ズームレンズが作動しますが、画像は記録されません。

プリセット時のフラッシュについて

プリセットホワイトバランスでは、フラッシュ発光時のホワイトバランスは測定できません。

露出補正

カメラが決めた適正露出値を、意図的に変えることを露出補正といいます。被写体が極端に明るい、あるいは暗い場合や、被写体の明るさの差が著しく異なる場合は、露出補正の数値を変えることで、画像の明るさを調整できます。露出補正値は、－ 2.0EV から＋ 2.0EV の範囲で 1/3 ステップごとに設定することができます。

- 露出補正値を変更すると、液晶モニターに表示中の画像に反映されるため、確認しながら露出補正を行うことができます。

露出補正表示

露出補正を 0 以外に設定すると、露出補正値が液晶モニターに表示されます（12）。

S 連写

MENU ▶ 連写 ▶ S

撮影状況に合わせて、次の 4 種類から連写モードを選択できます。

設　定	内　容
S 単写	シャッターボタンを深く押し込むと、1 コマの画像を撮影します。そのままシャッターボタンを押し続けても、連続撮影はできません。
連写	シャッターボタンを押し続けると、最速約 1.3 コマ / 秒で、約 6 コマ※の連続撮影を行います。
マルチ連写	シャッターボタンを深く押し込むと、約 1.3 コマ / 秒で 16 コマの連続撮影を行います。画像は 4 × 4 コマに並べられ、1 枚の画像(2816 × 2112 ピクセル)として保存されます。画像モードは自動的に 6M **標準 (2816)** に設定されます。
インターバル撮影	設定された撮影間隔(インターバル)で静止画像の撮影を自動的に行います(82)。最高 1800 コマまで撮影可能です。

※ 画像モード(78)が 6M **標準 (2816)** の場合のコマ数です。画像モードによって、連続撮影コマ数は異なります。

連写モードについてのご注意

- セルフタイマー撮影時(30)、または [**BSS**](84)を [**OFF**] 以外に設定したときは、連写モードは自動的に [**単写**] に設定されます。
- [**連写**]、[**マルチ連写**] に設定した場合、フラッシュモード(28)は自動的に (発光禁止)になります。オートフォーカス、露出、ホワイトバランスは、撮影 1 コマ目の条件で固定されます。
- [**マルチ連写**] に設定した場合、電子ズーム(24)は使用できません。

カメラの一時保存メモリー

カメラには、撮影中に画像を一時保存しておくためのメモリーがあります。撮影中に一時保存メモリーの残量がなくなると、撮影画面上に ⌛ マークが表示され、連写が一時中断されます。画像が内蔵メモリーまたは SD カードに書き込まれて一時保存メモリーの容量が空くと、⌛ マークが消え、撮影を再開します。一時保存メモリーに保存できる画像コマ数は、画像モードによって異なります。

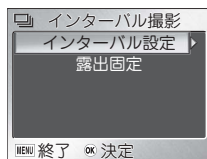
連写モード表示

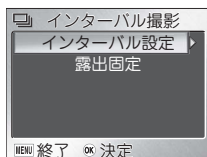
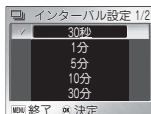
連写モードを [**単写**] 以外に設定すると、設定した連写モードのアイコンが表示されます(12)。

インターバル撮影の撮影方法

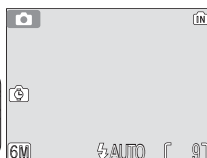
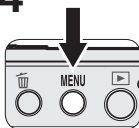
1

連写画面（81）で［**インターバル撮影**］を選択します。

2

OKを押すと、インターバル撮影画面が表示されます。

3

［**インターバル設定**］または［**露出固定**］を選択して、OKを押してください。インターバル撮影の撮影間隔（インターバル）や露出固定の ON/OFF を設定する画面が表示されます。

- **インターバル設定**：
  インターバル撮影の撮影間隔（インターバル）を選択します。OKを押すと、選択した内容にセットされます。

- **露出固定**：
  ［**ON**］に設定すると、撮影を終了するまで、露出とホワイトバランスが 1 コマ目を撮影した条件に固定されます。また、フラッシュモード（28）は自動的に（発光禁止）になります。［**OFF**］に設定すると、露出とホワイトバランスは固定されません。OKを押すと、選択した内容にセットされます（83）。

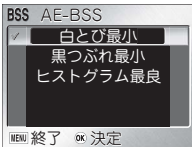
4

撮影メニューに戻った後、MENU ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

5

シャッターボタンを押し込んでインターバル撮影を開始します。設定された時間の撮影間隔（インターバル）ごとに自動的に撮影を行います。

- もう一度シャッターボタンを押すか、内蔵メモリーまたは SD カードの記録容量がなくなるか、1800 コマまで撮影すると、インターバル撮影が終了します。

インターバル撮影についてのご注意

- インターバル撮影時は、途中で電池の残量がなくなると撮影を終了するため、AC アダプターキット EH-62B(別売)(110)のご使用をおすすめします。
- インターバル撮影では、撮影から次の撮影までの間、液晶モニターが消灯し、撮影する直前に液晶モニターが自動的に点灯し、撮影を行います。
- インターバル撮影中に ▶ ボタンを押しても、撮影した画像を 1 コマ再生モードで再生することはできません。

露出固定表示

露出固定を [ON] に設定すると、AE-L アイコンが撮影画面に黄色で表示されます。インターバル撮影を開始すると、露出とホワイトバランスが 1 コマ目の条件に固定され、AE-L アイコンは白色に変わります。

メモ インターバル撮影で撮影した画像のファイル名とフォルダー名について (124)

撮影メニュー

BSS BSS（ベストショットセレクター）

📷 ➤ MENU ➤ BSS ▷BSS

ピント合わせや露出調整が難しい状況での撮影に便利な機能です。BSS（ベストショットセレクター）および AE-BSS の 2 種類があります。手ブレしやすい撮影状況では BSS が、露出の調整が難しい場合には AE-BSS が効果的です。

設　定	内　容
BSS OFF	BSS を設定しません。
BSS ON	シャッターボタンを深く押し続けると、10 コマまでの画像を連続撮影し、撮影された画像の中から最もシャープな 1 コマをカメラが自動的に選択して記録します。フラッシュは ⊛（発光禁止）となり、オートフォーカス、露出、ホワイトバランスは 1 コマ目の条件に固定されます。 [BSS] を [ON] に設定すると次のような場合に効果的です： • 望遠側で撮影する場合　• マクロ撮影の場合 • 暗い場所でフラッシュを使用せずに撮影したい場合
AE AE-BSS	シャッターボタンを押すと、5 コマの画像を連続撮影します。撮影した画像のうち、次の 3 種類から選択した設定内容に合った 1 コマを、カメラが自動的に選択して記録します。フラッシュは ⊛（発光禁止）となり、オートフォーカス、ホワイトバランスは 1 コマ目の条件に固定されます。 BSS AE-BSS / 白とび最小 / 黒つぶれ最小 / ヒストグラム最良 / MENU 終了 OK 決定 [**白とび最小**]：露出オーバーによる白とびが最も少ない画像を選択します。 [**黒つぶれ最小**]：露出不足による黒つぶれが最も少ない画像を選択します。 [**ヒストグラム最良**]：白とびや黒つぶれが少ない画像の中から、画像全体の露光量の平均が標準的な露光量に最も近い画像を選択します。 [BSS] を [AE-BSS] に設定すると次のような場合に効果的です： • 被写体の輝度差（明るい部分と暗い部分の差）が大きく、露出の調整が難しい場合などに効果的です。

BSS についてのご注意

- BSS を [**ON**] に設定しても、動いている被写体を撮影したり、連続撮影中に構図を変えたりすると、適切な結果が得られない場合があります。
- BSS は、セルフタイマー撮影時（30）または連写モード（81）が [**単写**] 以外に設定された場合、自動的に [**OFF**] になります。

BSS 表示

BSS を [**ON**] に設定すると BSS アイコンが、[**AE-BSS**] に設定すると AE-BSS アイコンが表示されます（12）。

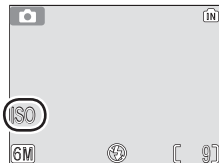
A-ISO ISO 感度設定

「ISO 感度」はカメラが光に対して反応する感度を表したものです。感度が高くなれば、ある一定の露出を行うために必要な光の量は少なくなり、より高速のシャッタースピードで撮影することが可能になります。このため、暗い場所での撮影や動いている被写体の撮影などに効果的ですが、一方で、撮影した画像にはノイズが出て、粒子が粗くなる場合があります。

設　定	内　容
オート	通常は ISO50 相当にセットされますが、暗い場所では自動的に感度が上がります（ISO200 相当まで）。感度が上がると **ISO**（感度変更）アイコンが画面に表示されます。
50	ISO50 相当。暗い場所での撮影や、動いている被写体を撮影する場合以外の通常の撮影では、ISO 感度設定を［**50**］に設定することをおすすめします。これより高い感度で撮影すると、画像にノイズが出る場合があります。
100	ISO100 相当。
200	ISO200 相当。
400	ISO400 相当。

撮影メニュー

感度表示

- ISO 感度設定を［**オート**］以外に設定すると、設定した感度が表示されます（12）。
- ISO 感度設定が［**オート**］の場合に、フラッシュモード（28）を（発光禁止）にセットすると、シャッタースピードの低下による手ブレを防ぐために、カメラが自動的に感度を上げることがあります。感度が上がっているときは、画面に ISO（感度変更）アイコンが表示されます。ISO（感度変更）アイコンが表示されているときに撮影された画像は、標準感度に比べて多少ザラついた画像になる場合があります。

ピクチャーカラー

撮影する画像の色調を変えます。ピクチャーカラーを設定すると、撮影画面に表示される画像も、設定した色調になります。

- ピクチャーカラーの各項目（[**標準カラー**] を除く）を選択すると、液晶モニターに表示中の画像に反映されるため、確認しながらピクチャーカラーを設定することができます。

設　定	内　容
標準カラー	自然な色調になります。
ビビッドカラー	はっきりした色調になります。
白黒	モノクロになります。
セピア	セピア色になります。
クール	ブルー系のモノトーンになります。

ピクチャーカラー設定時のご注意

ピクチャーカラーを [**白黒**]、[**セピア**]、[**クール**] に設定すると、[**ホワイトバランス**]（79）の設定は [**オート**] に固定されます。

ピクチャーカラー表示

ピクチャーカラーを [**標準カラー**] 以外に設定すると、設定したピクチャーカラーのアイコンが表示されます（12）。

再生メニュー

再生メニューでは、以下の項目を設定できます。

メニュー項目	内　容	👁
プリント指定	DPOF 対応プリンターや PictBridge 対応プリンターでプリントする画像の選択や枚数の指定などの設定を行います。	68
スライドショー	内蔵メモリーまたは SD カードに記録されている画像を、1 コマずつ順番に連続再生します。	89
削除	選択した画像、またはすべての画像を削除します。	90
プロテクト設定	不用意に画像を削除しないように、画像にプロテクト（保護）をかけます。	90
転送マーク設定	撮影した画像に設定されている転送設定を変更できます。	91
スモール ピクチャー	撮影した画像のサイズを小さくして、元の画像とは別に新しい画像を作成します。	92
画像コピー	内蔵メモリーと SD カードの間で画像をコピーします。	94
セットアップ	セットアップメニューを表示します。	95

再生メニューの表示方法

1

▶ ボタンを押すと、再生画面が表示されます。

2

MENU ボタンを押します。再生中の画像に応じた再生メニューが表示されます。

- 再生メニュー画面を終了して再生画面に戻るには、MENU ボタンを押します。
- 再生メニューを終了して撮影画面を表示するには、▶ ボタンを押します。

再生メニューのヘルプを表示する

再生メニューを表示しているときにズームレバーを ?(T) 方向に回すと、現在選択中のメニュー項目に関するヘルプ画面（👁 33）が表示されます。

再生メニューをアイコン表示する

セットアップメニューの［**メニュー切り換え**］（👁 109）を［**アイコンタイプ**］に設定すると、再生メニューの全項目を 1 画面にアイコンのみで表示することができます。

画像選択画面の操作方法

再生メニューの[**削除**](90)、[**プリント指定**](68)、[**プロテクト設定**](90)、[**転送マーク設定**](91)、[**画像コピー**](94)で画像を選択する場合は、右のような画像選択画面が表示されます。画像選択画面の操作方法は次のとおりです。

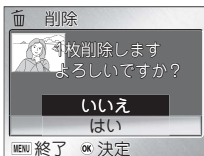
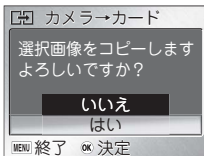
画像を選択します。

- 画面中央には選択した画像が表示されます。
- 設定をキャンセルする場合は、MENU ボタンを押します。

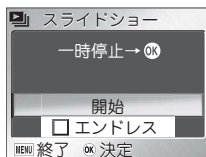
2

設定の ON/OFF を行います。設定を ON にすると、内容に応じたアイコンが表示されます。

- 設定したいすべての画像に対して、手順 1、2 を行います。
- 設定を取り消す場合は、設定を解除したい画像を選択してマルチセレクターを**下**に倒し、アイコンを消してください。

OK を押すと、設定が完了します。

- [**削除**]、[**画像コピー**]の場合は、確認画面が表示されます。[**はい**]を選択して OK を押すと、画像の削除またはコピーが行われます。

スライドショー

内蔵メモリーまたは SD カードに記録されている画像を、1 コマずつ順番に自動的に連続再生します。約 3 秒間隔で、撮影した順番に再生します。

1

［**開始**］を選択します。

2

OK を押すとスライドショーが始まります。

- スライドショーの再生中は、
  - マルチセレクターを**右**に倒すとコマ送りし、倒し続けると早送りします。
  - **左**に倒すとコマ戻しし、倒し続けると巻き戻します。
  - OK を押すとスライドショーが一時停止します。

- スライドショーが終了または一時停止すると、「一時停止」メニューが表示されます。［**終了**］を選択して OK を押すと、再生メニューに戻ります。［**再開**］を選択して OK を押すと、スライドショーを再開します。

スライドショーの自動繰り返し再生

スライドショーで画像を自動的に繰り返し再生するには、スライドショー開始画面で［**エンドレス**］を選択して OK を押し、［**エンドレス**］の前の □ に ✔ を入れます。［**開始**］を選択して OK を押すと、自動繰り返し再生を開始します。

- 自動繰り返し再生を解除するには、もう一度 OK を押して ☑ の ✔ を外します。

スライドショーについてのご注意

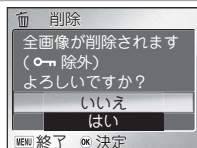
- ［**エンドレス**］に設定しても、スライドショーを開始してカメラの操作をせずに 30 分経過すると、オートパワーオフ機能により、自動的にカメラの電源が OFF になります。
- スモールピクチャー（92）は表示されません。
- 動画（56）は 1 フレーム目だけが表示されます。

削除

画像を削除します。

SDカードをカメラにセットしていない場合：内蔵メモリー内の画像が削除されます。

SDカードをカメラにセットしている場合：SDカード内の画像が削除されます。

設　定	内　容
削除画像選択	画像選択画面（88）で選択した画像を削除します。
全画像選択	すべての画像を削除します。 • 削除確認画面で、［**はい**］を選択して OK を押すと、すべての画像が削除されます。 削除 全画像が削除されます （ 除外） よろしいですか？ いいえ はい MENU 終了　OK 決定

画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻すことができないのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- アイコンが表示されている画像は、プロテクト（保護）設定されているので削除されません。

プロテクト設定

内蔵メモリーまたはSDカードに記録されている画像を誤って削除しないようにプロテクト（保護）設定します。

- 画像選択画面（88）で選択した画像をプロテクト設定します。
- プロテクト設定した画像には再生時にプロテクトアイコンが表示されます（12）。

プロテクト設定についてのご注意

プロテクト設定された画像は削除できなくなります。ただし、内蔵メモリーまたはSDカードを初期化すると、プロテクト設定された画像を含むすべての画像が消去されるのでご注意ください（106）。

転送マーク設定

撮影した画像をパソコンに転送するための設定を行います。カメラとPictureProjectがインストールされたパソコンを付属のUSBケーブルで接続して、カメラのOK(転送)ボタンで画像を転送すると、転送設定された画像がパソコンに転送されます(63)。

転送マーク設定を使用して、撮影した画像の転送設定を変更できます。

設定	内容
全ON	全画像の転送を設定します。 • OK を押すと、撮影した画像をすべて転送するように設定します。
全OFF	全画像の転送設定を解除します。 • OK を押すと、撮影した画像をすべて転送しないように設定します。
複数画像選択	画像選択画面(88)で選択した画像を転送設定します。

転送マーク設定についてのご注意

- [全ON]で一度に転送設定できる画像は999コマまでです。1000コマ以上の画像を一括転送する場合は、PictureProjectをご使用ください。詳しくはPictureProjectソフトウェア使用説明書CD-ROM(銀色)をご覧ください。
- COOLPIX S4以外のニコン製デジタルカメラで転送設定したSDカードを挿入しても、転送設定は認識されません。COOLPIX S4で再度転送設定を行ってください。

転送マークについて

- 転送設定された画像には、再生時に (転送)マークが表示されます。
- セットアップメニューの[**インターフェース**]の[**転送設定**]が[**ON**](初期設定)の場合は、撮影した画像すべてが転送設定されます(107)。

1コマ再生モード

サムネイル再生モード

スモールピクチャー

▶ → MENU → スモールピクチャー

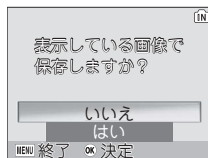
撮影した画像の画像サイズを小さくして、もとの画像とは別に、新しい画像を作成します。再生メニューを表示する前に、再生画面でスモールピクチャーを作成したい画像をあらかじめ選択してください。

スモールピクチャーは次のサイズで作成できます。

サイズ(ピクセル)	内容
640 × 480	テレビでの表示に適しています。
320 × 240	ホームページでの使用に適しています。読み込みの時間を短くできます。
160 × 120	電子メールへの添付に適しています。送信、受信の時間を短くできます。

1

画像サイズを選択します。

2

OK を押すと、スモールピクチャーの作成確認画面が表示されます。

3

[**はい**] を選択して、OK を押すと、選択した画像サイズのスモールピクチャーが作成されます。

- スモールピクチャーは、JPEG で約 1/16 に圧縮して保存されます。
- スモールピクチャーの撮影日時は、元の画像と同じです。

スモールピクチャーについてのご注意

- COOLPIX S4 以外で撮影された画像に対しては、スモールピクチャー機能の動作は保証しておりません。また、COOLPIX S4 で作成したスモールピクチャーは、COOLPIX S4 以外のデジタルカメラでの再生やパソコンへの転送が正常に行えない場合があります。
- 内蔵メモリーまたは SD カードに充分な残量がない場合や、元画像がスモールピクチャー、トリミング (59) で作成された画像、動画 (56) の場合には、スモールピクチャーを作成することはできません。
- 元画像に設定されていた転送マーク (91、107) は、スモールピクチャーにも設定されますが、元画像で設定した [**プリント指定**] (68) と [**プロテクト設定**] (90) は、スモールピクチャーには設定されません。

スモールピクチャーの再生について

スモールピクチャーはグレーの枠で囲まれて表示されます。また、1 コマ再生モード時は、画像サイズを示すアイコン (、、) が表示されます。

メモ **スモールピクチャーのファイル名とフォルダー名について (124)**

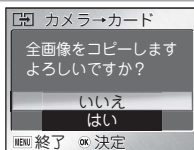
画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードに、SDカードの画像を内蔵メモリーにコピーすることができます。SDカードがカメラにセットされていない場合は、このメニューは選択できません。

画像のコピーを行う前に、次のいずれかを選択します。

IN→カード: 内蔵メモリー内の画像がSDカードへコピーされます。

カード→IN: SDカード内の画像が内蔵メモリーへコピーされます。

設 定	内 容
選択画像コピー	画像選択画面（88）で選択した画像をコピーします。
全画像コピー	すべての画像をコピーします。 • コピー確認画面で、[**はい**] を選択して OK を押すと、すべての画像がコピーされます。 カメラ→カード 全画像をコピーします よろしいですか？ いいえ はい MENU 終了 OK 決定

画像コピーについてのご注意

他社製のカメラで撮影した画像やパソコンでレタッチした画像に対しては、画像コピー機能の動作は保証しておりません。

プリント指定、転送マーク設定、プロテクト設定について

[**プリント指定**]（68）を行ったり、転送マーク（91）を付けた画像をコピーしても、これらの設定内容はコピーされません。ただし、[**プロテクト設定**]（90）をした画像をコピーしたときは、コピー先の画像もプロテクトされます。

音声データのコピーについて

音声データをコピーする方法については、「音声の録音と再生（音声レコード）」（46）をご覧ください。

メモ **コピーした画像のファイル名とフォルダー名について（124）**

セットアップメニュー

セットアップメニューでは、以下の項目が設定できます。

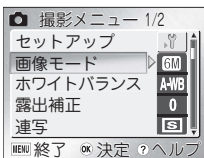
メニュー項目	内　容	📖
撮影メニュー シーンメニュー 動画メニュー 再生メニュー	それぞれのメニュー画面に戻ります。	76 32 50 87
オープニング画面	カメラの電源を ON にしたときに表示される、オープニング画面を設定します。	97
日時設定	カメラの内蔵時計の日時を設定します。タイムゾーンを自宅から訪問先に変更することもできます。	99
画面の明るさ	液晶モニターの画面の明るさを設定します。	101
デート写し込み	撮影時の日付と時刻、誕生日カウンターを画像上に写し込みます。	101
操作音	設定音、シャッター音、起動音の ON/OFF や音量を設定します。	103
手ブレお知らせ	撮影後に手ブレを知らせる画面を表示するかどうかを選択します。	104
オートパワーオフ	電池節約のため、液晶モニターが自動的に消灯するまでの時間を設定します。	105
メモリーの初期化 / カードの初期化	内蔵メモリーまたは SD カードを初期化します。	106
言語 /LANGUAGE	カメラに表示する言語を設定します。	106
インターフェース	これから撮影する画像の転送マークの ON/OFF、USB 通信方式、ビデオ出力形式を設定します。	107
AF 補助光	撮影時に AF 補助光を照射するかどうかを設定します。	107
設定クリアー	カメラの各種設定を初期設定にリセットします。	108
電池設定	カメラに入れた電池の種類を設定します。	109
メニュー切り換え	メニュー画面の表示形式を文字タイプまたはアイコンタイプのいずれかに設定します。	109
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。	109

セットアップメニューをアイコン表示する

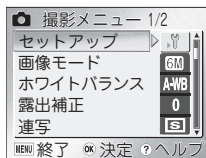
［**メニュー切り換え**］(📖 109) を［**アイコンタイプ**］に設定すると、セットアップメニューの全項目を 1 画面にアイコンのみで表示することができます。

セットアップメニューの表示方法

（オート撮影）モード、SCENE（シーンモード）、（動画）の場合

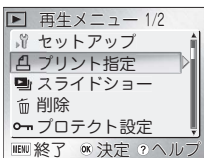
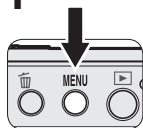
1

MENU ボタンを押します。

- モードセレクターに対応したメニューが表示されます。

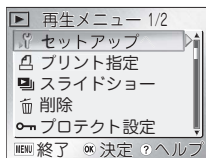
2

（**セットアップ**）を選択し、OK を押すとセットアップメニューが表示されます。

- メニュー画面を終了して撮影画面に戻るには、MENU ボタンを押します。

（再生モード）の場合

1

MENU ボタンを押します。

- 再生メニューが表示されます。

2

（**セットアップ**）を選択し、OK を押すとセットアップメニューが表示されます。

- メニュー画面を終了して再生画面に戻るには、MENU ボタンを押します。

セットアップメニューのヘルプを表示する

セットアップメニューを表示しているときにズームレバーを ?（T）方向に回すと、現在選択中のメニュー項目に関するヘルプ画面（ 33）が表示されます。

Nikon オープニング画面

MENU ➤ ➤ オープニング画面 ▷ --

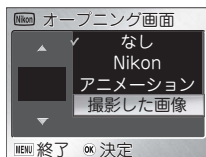
カメラの電源を ON にしたときに画面に表示される、オープニング画面を設定します。[**なし**]、[**Nikon**]、[**アニメーション**]、[**撮影した画像**] から選択できます。

設 定	内 容
なし （初期設定）	カメラの電源を ON にしても、オープニング画面は表示されません。
Nikon	カメラの電源を ON にしたとき、右のようなオープニング画面が表示されます。 COOLPIX
アニメーション	カメラの電源を ON にしたとき、右のようなオープニングアニメーションが表示されます。 COOLPIX
撮影した画像	COOLPIX S4 で撮影し、内蔵メモリーまたは SD カードに記録されている画像から、オープニング画面を選択します。 画像の選択 2005.10.01 15:30 [1/ 4] MENU 戻る OK 決定

スモールピクチャーやトリミング画像について

画像サイズが 320 × 240 以下のスモールピクチャー（92）とトリミング画像（59）は、オープニング画面として設定できません。

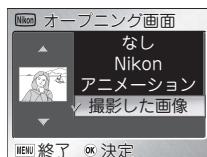
撮影した画像をオープニング画面に設定する

1

［**撮影した画像**］を選択して ⓞⓚ を押すと、画像選択画面が表示されます。

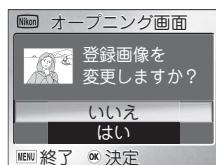
2

オープニング画面に使用したい画像を選択します。

- 画面中央に選択した画像が表示されます。
- 画像を選択せずに終了する場合は、MENU ボタンを押します。

3

ⓞⓚ を押すと、選択した画像がオープニング画面として設定されます。

すでに「撮影した画像」を登録済みの場合

オープニング画面メニューの［**撮影した画像**］で、すでに画像を登録している場合、画像を変更するかどうかを確認する画面が表示されます。変更する場合は［**はい**］を選択し、手順 2、3 にしたがってもう一度設定してください。

日時設定

カメラの内蔵時計のタイムゾーン（地域）と日時を設定します。また、タイムゾーンを自宅から訪問先に変更することもできます。

日時

日付と時刻を設定します。詳しくは「言語と日時を設定する」（19）をご覧ください。

ワールドタイム

自宅および訪問先の選択アイコン（◉ の方が選択されています）

自宅と訪問先それぞれのタイムゾーンを設定できます。自宅（🏠）または訪問先（✈）のいずれか選択されているタイムゾーンの日時が、撮影画像に記録されます。時差のある地域でカメラを使用するときに便利です。

- 自宅のタイムゾーンを変更したい場合は 🏠 を、訪問先のタイムゾーンを変更したい場合は ✈ を選択して OK を押します。
- 夏時間を設定する場合は、［**夏時間**］を選択して OK を押します。時刻が 1 時間進みます。

1

自宅または訪問先のタイムゾーンを選択して OK を押します。

2

マルチセレクターを**右**に倒すと、世界地図画面が表示されます。

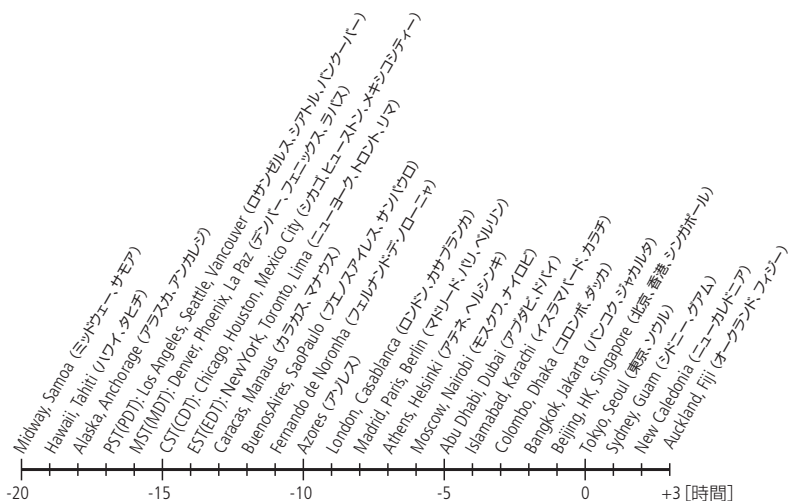
3

タイムゾーンを選択します。

4

OK を押すと、タイムゾーンが設定されます。MENU ボタンを押すと、ワールドタイム画面に戻ります。

- 🏠 を選択した場合は、選択したタイムゾーンの日時に設定されます。
- ✈ を選択した場合は、自宅との時差を自動的に算出して、訪問先での日付と時刻が表示されます。

タイムゾーンと時差の関係は次のとおりです。

夏時間とは

夏時間とは、夏の間だけ時刻を 1 時間繰りあげて、日中の明るい時間を有効利用する趣旨で、現在約 70 ヶ国で採用されている制度です。夏時間を設定すると、時刻が 1 時間進みます。

ワールドタイムの設定についてのご注意

- ［**ワールドタイム**］は、［**日時**］で日付と時刻を設定してからでないと、設定できません。
- 時差は 1 時間単位で自動的に設定されます。時刻を正確に合わせる場合は、［**日時設定**］(19) で設定してください。
- 自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定することはできません (116)。

ワールドタイム表示

訪問先を選択すると、✈ アイコンが画面に表示されます (12)。
撮影画像には設定した訪問先の日時が記録されます。

画面の明るさ

MENU ➤ ➤ 画面の明るさ ▷ 3

画面の明るさを5段階で調整します。画面に表示される右の画像を目安にしながら、マルチセレクターで明るさを調整してください。Ⓚ を押すと選択した明るさに設定されます。

DATE デート写し込み

MENU ➤ ➤ デート写し込み ▷

撮影時に日付や時刻を画像上に写し込みます。

設 定	内 容
OFF（初期設定）	日付、時刻のどちらも写し込みません。
DATE 年・月・日	画像上に日付のみを写し込みます。
DATE 年・月・日・時刻	画像上に日付と時刻の両方を写し込みます。
123 誕生日カウンター	登録した日付から撮影日までの経過日数を写し込みます。

デート写し込みを設定すると、日付と時刻が画像に直接写し込まれるので、DPOFに対応していないプリンターでも日付と時刻入りの画像をプリントできます。

日付と時刻は撮影と同時に画像の右下に写し込まれます。撮影後に写し込むことはできないのでご注意ください。

デート写し込みについてのご注意

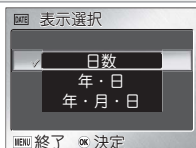
- セットアップメニューの[**日時設定**]（19、99）で日時を設定していない場合、[**デート写し込み**]は[**OFF**]に固定されます。
- 動画モード（50）、連写モードが［**連写**］の場合、[**BSS**］が［**OFF**］以外の場合、および、シーンモードが（スポーツ）の［**スポーツ**］、（パノラマアシスト）、（ミュージアム）（32）の場合の撮影時には、デート写し込みの設定は解除されます。
- 一度写し込まれた日時を画像から消すことはできません。
- 画像モード（78）が［**TV（640）**］に設定されている場合、写し込まれた日時が読みづらい場合があります。画像モードは［**パソコン（1024）**］以上に設定してください。
- 年、月、日の表示順序は、セットアップメニューの［**日時設定**］（20）で選択した表示順序と同じになります。
- 再生メニューの［**プリント指定**］（68）の設定に関係なく、写し込まれた日付や時刻はプリントされますので、DPOFに対応していないプリンターでもプリントされます。［**プリント指定**］による日付設定との違いについては、125ページをご覧ください。

誕生日カウンター

日付を登録し、その日付からの日数を画像に写し込むことができます。誕生日や結婚式などのイベントまでの日数をカウントダウン形式で入れたり、子供が産まれた日からの経過日数を入れるなどの用途にお役立てください。

登録日が撮影日より後の場合は、先頭に▲マークがつき、登録日までの日数が写し込まれます。

設　定	内　容
日付登録	「誕生日カウンター」画面で「日付登録」を選択して OK を押すと、「日付登録」画面が表示されます。マルチセレクターで新たに登録または変更したい番号を選択し、マルチセレクターを**右**に倒すと、「日付設定」画面が表示されます。 「日付登録」画面では、3 日分の日付を登録できます。番号を選択して、OK を押すと、選択した番号の登録日からの日数を写し込みます。 「日付設定」画面では、登録する日付を設定できます。日付設定の方法は、「日付と時刻を設定する」(19) と同じです。 1910 年 1 月 1 日～ 2037 年 12 月 31 日の範囲で設定できます。
表示選択	「誕生日カウンター」画面で「表示選択」を選択して OK を押すと、「表示選択」画面が表示されます。 写し込む日数の種類を「**日数**」、「**年・日**」、「**年・月・日**」から選択できます。OK を押すと決定します。

デート写し込み表示

デート写し込みを DATE **年・月・日**、DATE **年・月・日・時刻**または 123 **誕生日カウンター**に設定すると、設定したデート写し込みのアイコンが表示されます (12)。

操作音

MENU ▶ 🔧 ▶ 操作音 ▷ --

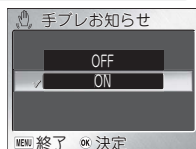
カメラの状態を知らせる設定音、起動時のオープニング音、シャッター音の ON/OFF、音量を設定します。

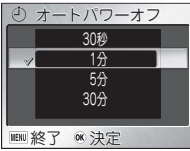
設　定	内　容
設定音	[**ON**] にすると、次のような場合に設定音が鳴ります。 **設定音が 1 回鳴る場合；** SD カードの着脱時、データ削除時、内蔵メモリーまたは SD カードの初期化時、モードセレクターを切り換えたとき **設定音が 3 回鳴る場合；** 内蔵メモリーや SD カード、電池の残量がない状態でシャッターボタンを押したとき、または SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」の状態でシャッターボタンを押したとき 設定音 / OFF / ✓ ON / MENU 終了 OK 決定
シャッター音	シャッターをきったときのシャッター音を、[**大**]、[**標準**] の 2 段階で設定します。[**OFF**] にすると、シャッターをきってもシャッター音は鳴りません。 • 連写モード (👁 81) が [**連写**] または [**マルチ連写**] のとき、BSS (👁 84) が [**OFF**] 以外のとき、シーンモードの 🏃 (スポーツ) (👁 37) や動画モード (👁 54) での撮影時には、シャッター音は鳴りません。 シャッター音 / 大 / ✓ 標準 / OFF / MENU 終了 OK 決定
オープニング音	カメラ起動時のオープニング音を [**大**]、[**標準**] の 2 段階で設定します。[**OFF**] にすると、オープニング音は鳴りません。 USB ケーブルを接続してカメラの電源を ON にしたとき (👁 65、70) には、オープニング音は鳴りません。 オープニング音 / 大 / 標準 / ✓ OFF / MENU 終了 OK 決定

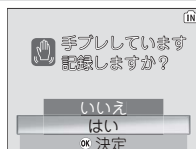
手ブレお知らせ

MENU ➤ ➤ 手ブレお知らせ ▷ ON

撮影後に手ブレお知らせ画面を表示するかどうかを選択します。

望遠側で撮影する場合は、手ブレが発生しやすいため、[**手ブレお知らせ**] を [**ON**] に設定することをおすすめします。

設定	内容
ON	手ブレの可能性が高い場合のみ、画像の撮影後に手ブレお知らせ画面が表示されます。
OFF	手ブレの可能性が高い場合でも、手ブレお知らせ画面は表示されません。

手ブレお知らせ画面では、[**はい**] を選択するとそのまま画像を記録し、[**いいえ**] を選択すると画像が削除されます。

- 手ブレお知らせ画面が表示されて約 20 秒経過すると、自動的に画像が記録され、撮影画面に戻ります。

セットアップメニュー

手ブレお知らせについて

- 手ブレが起きたときに [**手ブレお知らせ**] が [**ON**] に設定されていても、次の場合には手ブレお知らせ画面は表示されません。
  - ・セルフタイマー撮影時 (30)
  - ・シーンモードが、(スポーツ)、(ミュージアム)、(花火) または (パノラマアシスト) の場合 (32)
  - ・連写モードが [**単写**] 以外の場合 (81)
  - ・[**BSS**] が [**OFF**] 以外の場合 (84)
  - ・動画撮影時 (54)
- 撮影画像の手ブレ状態を確認してから削除するかどうか決めたい場合は、[**はい**] を選択して一度画像を記録してから、▶ ボタンを押してください。

1m オートパワーオフ

MENU ➤ 🔧 ➤ オートパワーオフ ▷ 1m

操作のない状態が続いたときにカメラの機能を停止して、電池の消耗を防ぎます。

設定	内容
オートパワーオフ	オートパワーオフ機能が作動するまでの時間を［**30 秒**］、［**1 分**］（初期設定）、［**5 分**］、［**30 分**］のいずれかに設定できます。 オートパワーオフ 30秒 1分 5分 30分 MENU 終了　OK 決定
スリープモード	［**ON**］に設定すると、オートパワーオフで設定している時間が経過しなくても、被写体の明るさに変化のない状態が続くと、オートパワーオフが作動します。オートパワーオフが［**30 秒**］または［**1 分**］に設定されている場合には 30 秒、［**5 分**］または［**30 分**］に設定されている場合には 1 分でスリープモードに入ります。 スリープモード OFF ON MENU 終了　OK 決定

オートパワーオフ機能が作動してからなにも操作しないで約 3 分経過すると、自動的に電源がオフになります。

オートパワーオフについてのご注意

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間は、メニュー画面が表示されている場合は 3 分に、スライドショーを［**エンドレス**］に設定している場合、および AC アダプターを使用している場合は、30 分に固定されます。ただし、AC アダプターを使用し、同時に AV ケーブルを接続している場合は、オートパワーオフ機能が作動してもビデオ信号は継続して出力されます。

オートパワーオフの解除について

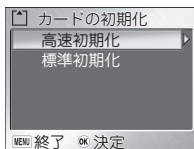
次の操作を行うと、オートパワーオフが解除され、液晶モニターが点灯します。

- 電源スイッチを押す
- シャッターボタンを半押しする
- ◻ ボタンを押す
- ▶ ボタンを押す（再生モードになります）
- MENU ボタンを押す（各モードのメニュー画面が表示されます）
- モードセレクターを切り換える（セットしたモードに入ります）

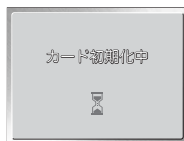
メモリーの初期化 / カードの初期化

内蔵メモリーまたは SD カードを初期化（フォーマット）します。初期化すると、内蔵メモリーまたは SD カードに記録されている、すべてのデータが消去されます。

SD カードがセットされていないときは、メモリーの初期化メニューが表示され、[**初期化する**] を選択すると内蔵メモリーが初期化されます。

SD カードがセットされているときは、カードの初期化メニューが表示され、[**初期化する**] を選択すると SD カードが初期化されます。
カードの初期化メニューでは、[**高速初期化**] と [**標準初期化**] を選択できます。

設　定	内　容
高速初期化	SD カード上のデータが記録されている領域のみを初期化します。
標準初期化	データが記録されていない領域も含むSDカード全体が初期化されます。標準初期化は高速初期化に比べて処理時間が長くなります。

初期化についてのご注意

- 初期化中は、「メモリー初期化中」または「カード初期化中」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されている間は、カメラの電源を OFF にしたり、電池や SD カードを取り出したりしないでください。
- 初期化すると、内蔵メモリーまたは SD カード内のデータはすべて消去されます。初期化する前に保存したい画像をパソコンに転送することをおすすめします (63)。

SD カードの標準初期化について

- 購入直後の新品の SD カードをお使いになる場合は、必ず [**標準初期化**] を行ってください。
- SD カードは、撮影と削除を繰り返すと処理能力が落ちてくるため、カメラの機能を充分に活用できなくなります。定期的に SD カードを [**標準初期化**] することをおすすめします。
- [**標準初期化**] は液晶モニターに （電池残量チェック表示）が表示されている状態（電池の残量が少なくなっている状態）では選択することができません。

言語 /LANGUAGE

メニュー画面やメッセージ画面に表示する言語を 12 言語から選択します。

インターフェース

MENU ▶ ▶ インターフェース ▶

撮影時の転送設定、パソコンやプリンターなどの USB 通信方式、ビデオの出力方式を設定します。

設　定	内　容	
USB	パソコンやプリンターとの USB 通信方式を選択します。パソコン接続時の USB 通信方式については「パソコンで再生する」(63) を、プリンター接続時の USB 通信方式については「ダイレクトプリント」(70) をご覧ください。	
ビデオ出力	ビデオの出力方式を設定します。テレビやビデオデッキなど、接続する機器に合わせて選択してください (62)。	
	NTSC	NTSC 方式に設定します。通常、日本国内で使用されている方式です。
	PAL	PAL 方式に設定します。通常、欧州で使用されている方式です。
転送設定	撮影時に、画像をパソコンに転送する設定にするか、転送しない設定にするかを選択できます。	
	ON	設定以降に撮影されたすべての画像が自動的に転送設定され、(転送) マークが表示されます。
	OFF	設定以降に撮影された画像は転送設定されず、(転送) マークは表示されません。

AF 補助光

MENU ▶ ▶ AF補助光 ▶

AF 補助光は、被写体が暗い場合に被写体を照らしてオートフォーカスでのピントを合わせやすくします。撮影時に被写体が暗い場合に AF 補助光を照射するかどうかを設定できます。

設　定	内　容
AUTO	被写体が暗い場合にシャッターボタンを半押しすると、AF 補助光が自動的に照射されます。
OFF	被写体が暗くても AF 補助光を照射しません。

AF 補助光についてのご注意

- AF 補助光が届く範囲は、約 2m です。
- [**AF 補助光**] を [**AUTO**] に設定しても、次の場合には AF 補助光は照射されません：
  - ・シーンモード(32)の (ポートレート)の[**ポートレート**]以外のアシスト機能、(風景)、(スポーツ)、(夜景ポートレート) の [**夜景ポートレート**] 以外のアシスト機能、(トワイライト)、(夜景)、(ミュージアム)、(打ち上げ花火) にセットした場合。

C 設定クリアー

カメラの各種設定を初期設定にリセットします。

[**はい**] を選択すると、以下の設定項目がリセットされます。

設定項目	初期設定
フラッシュモード	AUTO（自動発光）
セルフタイマー	OFF
マクロモード	OFF
動画モード	カメラ再生 320
AF-MODE	シングル AF
電子式手ブレ補正	OFF
シーンモード	パーティー
ポートレートモード	顔認識 AF
風景モード	風景
スポーツモード	スポーツ
夜景ポートレートモード	夜景ポートレート
画像モード	標準（2816）
ホワイトバランス	オート
露出補正	± 0
連写モード	単写
BSS	OFF
ISO 感度設定	オート

設定項目		初期設定
ピクチャーカラー		標準カラー
オープニング画面		なし
画面の明るさ		3
デート写し込み		OFF
操作音		
	設定音	ON
	シャッター音	標準
	オープニング音	OFF
手ブレお知らせ		ON
オートパワーオフ		
	オートパワーオフ	1 分
	スリープモード	OFF
インターフェース		
	転送設定	ON
AF 補助光		AUTO
メニュー切り換え		文字タイプ

- 設定クリアーを行うと、ファイル名の連番もリセットされます。次の撮影からは内蔵メモリまたは SD カード内にある一番大きいファイル番号の次の番号から連番がつけられます。

ファイル名の連番を 0001 にリセットしたいときは

ファイル名の連番を 0001 にリセットしたいときは、まず内蔵メモリーまたは SD カード内の画像をすべて削除する（☞ 90）か、内蔵メモリーまたは SD カードを初期化（☞ 106）した後、設定クリアーを行ってください。

電池設定

MENU ➤ ➤ 電池設定 ▷ LR6

カメラに入れた電池の種類を設定します。電池の種類を変えた場合は、必ず正しい種類の電池を設定してください。間違った種類の電池を設定していると、電池残量チェック表示（ 22）が正しく作動しません。

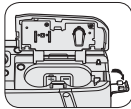
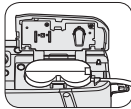
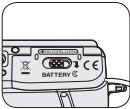
設　定	内　容
アルカリ電池（初期設定）	アルカリ乾電池
COOLPIX(NiMH)	リチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2、オキシライド乾電池
リチウム	リチウム電池

バックアップ電池について

バックアップ電池（ 20）の充電が充分でない場合は、電池設定が初期設定（[**アルカリ電池**]）に戻ることがあります。再度、正しい種類の電池を設定してください。

MENU メニュー切り換え

MENU ➤ ➤ メニュー切り換え ▷

動画メニュー（ 52）、撮影メニュー（ 76）、再生メニュー（ 87）、セットアップメニュー（ 95）で表示されるメニューの表示方法を、[**文字タイプ**] と [**アイコンタイプ**] の 2 種類から選択できます。

Ver. バージョン情報

MENU ➤ ➤ バージョン情報 ▷ --

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。マルチセレクターを**左**に倒すと、セットアップメニューに戻ります。

別売アクセサリー

COOLPIX S4 には次の別売アクセサリーが用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

リチャージャブルバッテリー	リチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2
バッテリーチャージャー	バッテリーチャージャー MH-71
AC アダプター	AC アダプターキット EH-62B < EH-62B の取り付け方> ① ② ③
USB ケーブル	USB ケーブル UC-E6

推奨 SD カード一覧

次の SD カードが動作確認されています。

SanDisk 製	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB、256MB※、512MB、512MB※、1GB
東芝製	16MB、32MB、64MB、128MB、128MB※、256MB、256MB※、512MB
Panasonic 製	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB※、512MB※、1GB※

※ 10MB/s の高速タイプ

SD カードの取り扱い上のご注意

- SD カード以外のメモリーカードは使用できません。
- 必ずこのカメラで [**標準初期化**] (106) してからお使いください。
- SD カードの初期化、画像の記録または削除、パソコンとの通信などを行っている間は、
  ・カードの着脱をしないでください　・カメラの電源を OFF にしないでください
  ・カメラから電池や SD カードを取り出さないでください
  ・AC アダプターの電源コードを抜かないでください
  記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、および腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ	レンズのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますので注意してください。
液晶モニター	液晶モニターには保護アクリルがついています。保護アクリルのゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますので注意してください。
カメラ本体	ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。 ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

保管について

長期間カメラを使用しないときは、電池を取り出してください。取り出す前に、カメラの電源が OFF になっていることをご確認ください。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください：

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が 50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が 60% を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射はCCDの褪色や焼きつきを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

●保管する際には

カメラを長期間使用しないときは、電池を必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安に電池を入れカメラを操作することをおすすめします。

●電池やACアダプターを取り外すときは必ず電源がOFFの状態で行ってください

電源がONの状態で、電池の取り出し、ACアダプターの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

●液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

●スミアーについて

明るい被写体を写すと、液晶モニター画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミアー現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

●AF補助光について

AF補助光（👁 26）に使用されているLED（発光ダイオード）は以下のIEC規格に準拠しています。

クラス1 LED製品

IEC60825-1 Edition 1.2-2001

●カメラを持ち歩くときにレンズキャップのキャップ部分を持たないでください

レンズキャップをカメラに取り付けた状態で、キャップ部分だけを持たないでください。落下などの事故によるカメラやレンズキャップの破損の原因となります。

付録

電池について

●充電池は、撮影前に充電する

別売のリチャージャブルバッテリーEN-MH1-B2をお使いの際は、撮影前に充電してください。ご購入時にはフル充電されていないので、ご注意ください。

●使用上の注意

- 長時間お使いになった電池は、発熱していることがあるので、ご注意ください。
- 電池を取り出すときは、カメラの電源をOFFにして、電源ランプが消灯していることをご確認ください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池はお使いにならないでください。
- 残量の無くなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返さないでください。

●予備電池を用意する

撮影の際は予備の電池をご用意ください。特に海外では、地域によって電池の入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

●低温時の電池について

電池の一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになる場合は、電池やカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には残量が充分な電池を使い、予備の電池を用意する

低温時に消耗した電池をお使いになると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は、新しい電池またはフル充電した充電池を使い、保温した予備の電池を用意して温めながら交互にお使いください。低温下では一時的に性能が低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使える場合があります。

●電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合があります。電池を入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●電池の残量について

電池の特性上、残量のなくなった電池をカメラに入れると、電池の残量が充分にある状態を示す（電池残量チェック表示が表示されない）ことがありますので、ご注意ください。

●ニッケル水素電池について

- ニッケル水素電池は、残量がある状態で繰り返し充電すると、メモリー効果（一時的に電池容量が低下したような特性を示す現象）によって、電池残量チェック表示が早めに表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電すると、正常に戻ります。
- ニッケル水素電池は、お使いにならないときでも自然放電によって残量が減っていきます。お使いになる直前に充電することをおすすめします。

●リチャージャブルバッテリーEN-MH1-B2の充電について

EN-MH1-B2は、専用バッテリーチャージャーMH-71で2本同時に充電してください。2組以上のEN-MH1-B2をお使いの場合は、残量の異なるバッテリーが混在しないようにしてください。

●リチャージャブルバッテリーEN-MH1-B2のリサイクルについて

充電を繰り返して劣化し使用できなくなったバッテリーは、再利用しますので廃棄しないでリサイクルにご協力ください。端子部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

Ni-MH

付録

警告メッセージについて

液晶モニターに下記の警告メッセージが表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処方法をご確認ください。

画面表示	原　因	対処法	👁
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	20
電池残量がありません	電池の残量がありません。	カメラの電源を OFF にして電池を交換してください。	22
AF● （AF 表示の赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	シャッターを半押しして被写体と同じ距離のものにピントを合わせ、そのまま構図をもとにもどして撮影してください。	25 122
（点滅）	シャッタースピードが遅くなり、手ブレのおそれがあります。	次の方法でカメラを安定させてください。 • フラッシュを使用する • 三脚を使用する • 安定した場所におく • 体にひじを付けて、両手でしっかりとカメラを固定する	28 11 — 23
記録中 しばらくお待ちください	• 画像の記録中にカメラの電源を OFF にしました。 • 画像の記録中に ▶ ボタンが押されました。	記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	26
カードがロック されています	SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」にセットされています。	SD カードの書き込み禁止スイッチの「Lock」を解除してください。	17
このカードは使用 できません カードに異常があります （点滅）	SD カードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みの SD カードをご使用ください。 • SD カードの端子部分が汚れていないかご確認ください。 • 電源を OFF にして、SD カードが正しく挿入されているか、ご確認ください。	110 17 16
初期化されていません （点滅） 初期化する いいえ ▷	SD カードが、COOLPIX S4 用に初期化されていません。	マルチセレクターで「初期化する」を選択し、OK を押して SD カードを初期化するか、カメラの電源を OFF にして、適切な SD カードに交換してください。	106 16

画面表示	原　因	対処法	
メモリー残量が ありません IN または	画像を記録する空き容量がありません。	• 画像モードを画像サイズの小さいモードに変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • 新しい SD カードに交換してください。 • SD カードをカメラから取り外し、内蔵メモリーに記録してください。	78 27 90 16 17
	画像を転送するための通信情報を書き込む容量がありません。（カメラとパソコンを接続し、OK を押した場合のみ）	不要な画像を削除し、もう一度 OK を押してください。	27 90
画像を保存できません IN または	• ファイル番号のオーバーフローです。	• 新しいSDカードに入れ換えてから、[**設定クリアー**] を行ってください。 • 内蔵メモリーまたは SD カードを初期化してから、[**設定クリアー**] を行ってください。	16 108 106 108
	• オープニング画面に設定できない画像を設定しようとしました。	• サイズが 320 × 240 以下の画像はオープニング画面に設定できません。	97
	• 画像をコピーしようとしましたが、コピー先のメモリー残量が足りません。	• 新しい SD カードに入れ換えてください。 • 内蔵メモリーまたは SD カード内の不要な画像を削除するか、初期化してください。	16 90 106
	• トリミングで作成された画像またはスモールピクチャーに対してトリミングを行おうとしました。	• スモールピクチャーまたはトリミングで作成された画像に対してはトリミングを行うことはできません。	59
	• 画像を編集しようとしましたが、内蔵メモリーまたは SD カードの残量がありません。	• 内蔵メモリーまたは SD カードの残量が少ない場合、画像の編集ができない場合があります。画像の削除などを行って、空き容量を確保してから作成してください。	27 90
音声を登録できません IN または	ファイル番号のオーバーフローです。	• 新しいSDカードに入れ換えてから、[**設定クリアー**] を行ってください。 • 内蔵メモリーまたは SD カードを初期化してから、[**設定クリアー**] を行ってください。	16 108 106 108
この画像はすでに編集されています。D- ライティングはできません	D- ライティングができない画像に対して、D- ライティングを行おうとしました。	画像の編集で作成された画像に対しては D- ライティングを行うことができません。	60

画面表示	原　因	対処法	
このファイルは表示できません	パソコン、または他社のカメラで作成したファイルです。	撮影したカメラまたはパソコンで再生してください。	—
音声データがありません	内蔵メモリーまたは SD カードに、録音された音声データが入っていません。	▶ ボタンを押して録音モードに切り換え、音声を録音してください。	46
インデックスがありません	インデックスがついていない音声データの再生時に ⏮ または ⏭ を選択しました。	音声の録音中に、マルチセレクターを**上**、**下**、**左**、**右**に倒してインデックスをつけてください。	46
動画記録できません	SD カードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速い SD カードに交換してください。	110
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	ワールドタイムの設定で、自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しようとしました。	自宅と訪問先のタイムゾーンをもう一度確認してください。自宅と訪問先のタイムゾーンが同じであれば、設定する必要がありません。	99
モードセレクター位置がずれています	モードセレクターの位置がずれています。	モードセレクターをカメラの 📷 、SCENE 、🎥 のいずれかの指標に合わせてください。	10
撮影画像がありません	内蔵メモリーまたは SD カードに、撮影された画像が入っていません。	▶ ボタンを押して撮影モードに切り換え、画像を撮影してください。	25 27
表示可能な画像がありません	内蔵メモリーまたは SD カードに、COOLPIX S4 で再生できる画像が入っていません。		
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	画像のプロテクトを解除して、もう一度画像を削除してください。	90
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンが正しく接続されていること、および電池の残量が充分であることを確認して、もう一度転送してください。	22 65
転送がキャンセルされました	パソコン側で転送がキャンセルされました。		
転送マーキングされた画像がありません	転送マーク設定された画像がないときに Ⓚ ボタンでパソコンに画像を転送しようとしました。	カメラとパソコンの接続を外し、少なくとも 1 枚以上の画像に転送マーク設定を行い、もう一度転送してください。	65 66 91

付録

画面表示	原　因	対処法	👁
通信エラー	パソコンに画像を転送中、またはプリンターに画像を転送中に、インターフェースケーブルの接続が外れました。	パソコンのモニターに警告メッセージが表示された場合、[OK] をクリックして PictureProject を終了してください（パソコンに画像を転送中の場合）。カメラの電源を OFF にした後、ケーブルを再接続するか、もう一度電源を ON にして転送してください。	63
通信エラー	ご使用のパソコンの OS とカメラの USB 通信方式の組み合わせでは、カメラの (OK) ボタンで転送できません。	カメラの電源を OFF にし、いったん USB ケーブルを外して、セットアップメニューの［**インターフェース**］の［**USB**］の設定を変更した後、パソコンともう一度接続してください。この操作で警告メッセージが消えない場合には、PictureProject の［転送］ボタンを使用して転送して下さい。	63
通信エラー	PictureProject が起動していません。	(OK) ボタンを押す前に PictureProject が起動していることを確認してください。	63
プリンターエラー プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	プリンターを確認してください。エラーの原因を取り除いた後、マルチセレクターで［**継続**］を選択し、(OK) を押すとプリントを再開します。［**キャンセル**］を選択すると、その時点でプリントを中止します。エラーの原因によって［**継続**］を選択できない場合は、［**キャンセル**］を選択してください。	—
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	カメラの電源を OFF にして、電池を使用している場合は電池を取り出し、AC アダプターを使用している場合は AC アダプターを外します。もう一度電池を入れるか AC アダプターを接続してから、電源を ON にしてください。システムエラーの表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	14 15 110
レンズエラー	レンズの作動不良です。	カメラの電源を OFF にしてください。もう一度電源を ON にしてもレンズエラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	18

故障かな？と思ったら

カメラが正常に作動しないときは、お買い上げの販売店やニコンサービスセンターにお問い合わせいただく前に、下表の項目をご確認ください。

表示関連

こんなときは	ここをご確認ください	👁
液晶モニターに何も映らない	• カメラの電源が入っていません。 • 電池が正しく装着されていません。または電池室カバーがしっかりと閉まっていません。 • 電池の残量がありません。 • AC アダプターが正しく接続されていません。 • レンズキャップのキャップ部分が閉じています。キャップ部分を開けてください。 • オートパワーオフ機能が作動しています。シャッターボタンを半押ししてください。 • カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されています。 • AV ケーブルが接続されています。 • インターバル撮影、または微速度撮影を行っています。 • 音声の録音中に液晶モニターが消灯しています。▣ ボタンを押すと液晶モニターが点灯します。	18 14 22 110 — 105 65 62 54 82 46
画像モードなど、カメラの設定内容の情報や画像情報が表示されない	• 撮影情報や画像情報を非表示にセットしている可能性があります。▣ ボタンを押すと、撮影情報または画像情報が表示されます。	22
液晶モニターの画面がよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • カメラを操作せずに 5 秒間経過すると節電モードになり、液晶モニターの輝度がゆっくりと低くなります。シャッターボタンを半押ししてください。 • 液晶モニターが汚れています。	101 18 111

●デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、電源を OFF にして電池を入れ直し、電源を ON にしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますと電池が熱くなっていることがありますので、取り扱いには充分にご注意ください。AC アダプターをご使用時は、いったんカメラから取り外して再度カメラに取り付け、電源を ON にしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態のときのデータは、失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたは SD カードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	ここをご確認ください	参照
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	• カメラが再生モードになっています。 • 電池の残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しています：フラッシュが充電中です。 • 画面に「初期化されていません」というメッセージが表示されます：SD カードが COOLPIX S4 用に初期化されていません。 • 画面に「メモリー残量がありません」というメッセージが表示されます：内蔵メモリーまたは SD カードに画像を記録する空き容量がありません。 • 画面に「カードがロックされています」というメッセージが表示されます：SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」にセットされています。	27 22 25 106 115 17
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体です。AF ロックを使用して撮影してください。 • [**AF 補助光**] が [**OFF**] になっています。[**AUTO**] に設定してください。 • 電源をいったん OFF にしてから再度 ON にしてください。	122 107 18
画像がブレる	• 撮影中にカメラが動きました。次の方法でもう一度撮影してください。 － フラッシュを使用してください。 － BSS（ベストショットセレクター）機能を使用してください。 － 三脚を使用して、カメラを安定させてください（セルフタイマーを使うと効果的です）。	 28 84 30
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	• フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを ⊛（発光禁止）にして撮影してください。	28 29
フラッシュが発光しない	• フラッシュが発光禁止になっています。次の場合、フラッシュは自動的に発光禁止になるのでご注意ください： － シーンモードの ▲（風景［左背景と右背景を除く］）、🏃（スポーツ）、▦（夜景）、🏛（ミュージアム）、❋（打ち上げ花火）、▲（トワイライト）にセットした場合（フラッシュは使用できません） － シーンモードの ≜（夕焼け）、□（モノクロコピー）、⊏⊐（パノラマアシスト）にセットした場合（初期設定では、⊛（発光禁止）になっています。フラッシュモードの設定を変更してください） － 🎥（動画）モードにセットした場合（微速度撮影を除く） － 連写モードを [**連写**] または [**マルチ連写**] に設定した場合 － BSS を [**ON**]、[**AE-BSS**] に設定した場合	28 32 32 28 50 81 84
ノイズが発生し、画像がザラつく	• シャッタースピードが遅すぎます。速いシャッタースピードで撮影するにはフラッシュを使用してください。 ※ シーンモードの ▣（夜景ポートレート）、▦（夜景）、▲（トワイライト）では、シャッタースピードの低速時にノイズ除去機能が自動的に作動します。撮影状況に合わせてこれらのシーンモードにセットすることをおすすめします。	28 38 41

付録

こんなときは	ここをご確認ください	📖
撮影した画像が暗すぎる（露出不足）	• フラッシュが発光禁止になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • レンズキャップがレンズにかかっています。キャップ部分をレンズにかからない位置まで開いてください。 • 被写体がフラッシュの光が届かない位置にあります。調光範囲内で撮影しなおしてください（D-ライティング機能を使って、撮影した画像の明るさを補正することもできます）。 • 露出補正値が低すぎます（－側）。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの「逆光」で撮影しなおすか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にして撮影しなおしてください（D-ライティング機能を使って、撮影した画像の明るさを補正することもできます）。	28 23 23 29 60 80 28 42 60
撮影した画像が明るすぎる（露出過度）	• 露出補正値が高すぎます（＋側）。	80
撮影した画像が鮮明でない	• レンズが汚れています。レンズのガラス部分をクリーニングしてください。	111
画像の色合いが不自然になる	• 適切なホワイトバランスが選択されていません。	79

再生関連

こんなときは	ここをご確認ください	📖
画像や音声を再生できない	• パソコンか他社製のカメラで、画像または音声が上書きされました。または名前が変更されました。	—
再生時に画像の拡大表示ができない	• 表示画像が動画です。 • 表示画像がスモールピクチャーです。 • 表示画像が 320 × 240 以下にトリミングされています。	56 92 59
画像の編集（トリミング、D-ライティング、スモールピクチャーの作成）ができない	• 表示画像が動画です。画像の編集は静止画像に対してしか行えません。 • スモールピクチャーの作成とトリミングは、トリミングで作成された画像やスモールピクチャーから行うことができません。 • D-ライティングは、トリミングまたは D-ライティングで作成された画像、スモールピクチャーから行うことができません。 • 内蔵メモリーまたは SD カードの残量が少ない場合、画像の編集ができない場合があります。画像の削除などを行って、空き容量を確保してから作成してください。 • 画面に「カードがロックされています」というメッセージが表示されます：SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」にセットされています。	56 59 92 60 27 90 17

こんなときは	ここをご確認ください	
画像がテレビに映らない	• セットアップメニューの［**インターフェース**］の［**ビデオ出力**］が正しく設定されていません。 • カメラに USB ケーブルが接続されています。AV ケーブルが正しく接続されていても、USB ケーブルを接続していると、テレビで再生することができません。	107 —
カメラをパソコンに接続したとき、またはSDカードをカードリーダーやカードスロットに挿入したときに、PictureProject が自動的に起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • 電池の残量がありません。または AC アダプターが正しく接続されていません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。または SD カードがカードリーダー、カードアダプター、またはカードスロットに正しく挿入されていません。 • カメラのデバイス登録が正しく行われていません。 • セットアップメニューの［**インターフェース**］の［**USB**］が正しく設定されていません。 PictureProject については、付属の PictureProject ソフトウェア使用説明書（CD-ROM）をご参照ください。	18 22 110 65 — 63
カメラの OK ボタンを押しても画像が転送できない	• ［**USB**］を［**Mass Storage**］に設定した状態で、内蔵メモリーの画像をカメラの OK ボタンで転送しようとしました。	63

その他

こんなときは	ここをご確認ください	
カメラの電源が突然切れる	• 電池の残量がありません。 • 電池の温度が低すぎます。	22 113

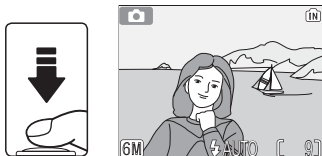
付録

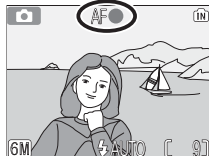
構図を変えて撮影するには ー AF ロック撮影

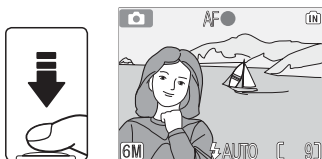
次のような場合、オートフォーカスでは適切なピント合わせができないことがあります。

- 非常に暗い被写体(AF 補助光範囲外、または AF 補助光非照射時)
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合(太陽が背景に入った日陰の人物など)
- コントラストがない被写体(白壁や背景と同色の服を着ている人物など)
- 遠いものと近いものが混在する被写体(オリの中の動物など)
- 動きの速い被写体

AF ロック撮影は、シャッターボタンを半押ししてピントと露出を固定したまま、構図を変えて撮影する方法です。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したい場合や、上記のようにオートフォーカスが苦手な被写体を撮影する場合に便利です。

1 ピントを合わせます。

写したいものが画面の中央になるようにカメラを向け、シャッターボタンを半押しします。

2 AF 表示を確認します。

ピントが合うと、AF 表示が点灯します。

3 シャッターボタンを半押ししたまま構図を変えます。

- シャッターボタンを半押ししている間はピントと露出が固定されます。
- カメラから被写体までの距離を変えないでください。被写体との距離が変わった場合は、いったんシャッターボタンから指を離し、ピントを合わせなおしてください。

4 シャッターボタンを押し込んで撮影します。

画像モードと記録可能コマ数について

内蔵メモリーや SD カードに記録できるコマ数は、選択した［**画像モード**］(78) によって異なります。各画像モードで、内蔵メモリー（約 13.5MB）および 256MB の SD カードのそれぞれに記録できるコマ数、および画像のファイルサイズのおおよその目安は次のとおりです。

画像モード	内蔵メモリー（約 13.5MB）	SD カード（256MB）
6M★ 高画質（2816★）	4 コマ	80 コマ
6M 標準（2816）	9 コマ	165 コマ
3M エコノミー（2048）	16 コマ	300 コマ
PC パソコン（1024）	57 コマ	1025 コマ
TV TV（640）	123 コマ	2200 コマ

JPEG 圧縮の性質上、画像の絵柄によって、記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量の SD カードでもカードの種類によって、記録可能コマ数が異なる場合があります。

※ 記録可能コマ数が 1000 コマ以上の場合には、液晶モニターに「999」と表示されます。

画像サイズについて

- 画像サイズを大きくすると、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる画像コマ数が減少しますが、大きくプリントするには適しています。
- 画像サイズを小さくすると、ファイルサイズが小さくなるため、電子メールで送る場合やホームページで使用するのに適しています。ただし、サイズが小さい画像を大きくプリントしようとすると、粒子の粗い画像になります。また、同じ画像サイズでも、プリント時の解像度が高いほどプリントサイズが小さくなります。

画質と圧縮について

画像を記録する際に、処理を施して画像のファイルサイズを小さくすることを圧縮といいます。

- 圧縮率を高くすると、ファイルサイズが小さくなり、記録できる画像コマ数は増加しますが、画質が低下し、細かい部分の再現性は低下します。
- 圧縮率を低くすると、ファイルサイズが大きくなり、記録できる画像コマ数は減少しますが、画像の細部の描写が維持され、高画質になります。

ファイル名とフォルダー名について

COOLPIX S4 で撮影した画像や動画、録音した音声は、カメラが自動的に作成するファイル名で保存されます。最初の 4 文字は識別子を表し、次の 4 桁の番号は撮影順に連番でつけられます（最初の 4 文字はカメラの画面には表示されません。パソコンに転送した場合に確認できます）。各ファイル名の最後には、ファイルのタイプを示す拡張子がつきます（例：DSCN0001.JPG）。

ファイルのタイプ		識別子	拡張子	👁
撮影した画像	静止画	DSCN	.JPG	27
	動画	DSCN	.MOV	54
	微速度撮影モードで撮影した動画	INTN	.MOV	54
編集した画像	トリミングで作成した画像	RSCN	.JPG	59
	スモールピクチャー	SSCN	.JPG	92
	D- ライティングで作成した画像	FSCN	.JPG	60
録音した音声	音声レコード	DSCN	.WAV	46
	元画像に録音した音声メモ	DSCN	.WAV	61
	トリミングで作成した画像に録音した音声メモ	RSCN	.WAV	61
	スモールピクチャーに録音した音声メモ	SSCN	.WAV	61
	D- ライティングで作成した画像に録音した音声メモ	FSCN	.WAV	61

- ファイルを保存するフォルダーはカメラが自動的に作成し、フォルダー名には 3 桁のフォルダー番号がつきます（例：100NIKON）。ひとつのフォルダー内のファイル数が 200 個に達すると、そのフォルダー番号に 1 を加えた新しいフォルダーが自動的に作成されます（例：100NIKON → 101NIKON）。
- インターバル撮影時は、撮影を行うたびに「INTVL」フォルダーが新しく作成され、ファイル名「DSCN0001」から一連の画像が保存されます（👁 82）。
- パノラマアシストモード時は、撮影を行うたびに「P_XXX」フォルダー（例：101P_001）が新しく作成され、ファイル名「DSCN0001」から一連の画像が保存されます（👁 44）。
- 音声レコード機能により録音された音声は、「SOUND」フォルダーに保存されます（👁 46）。
- 画像や音声データを内蔵メモリーと SD カードの間でコピーする場合（👁 48、94）、ファイル名は次のようになります。
  - ・［**選択画像コピー**］/［**選択データコピー**］の場合、使用中のフォルダー（または次回の撮影や音声録音で使用されるフォルダー）に、画像または音声データがコピーされます。コピーされた画像や音声データのファイル名は、内蔵メモリーおよび SD カードの中で最大のファイル番号に 1 を加えた番号からの連番で付けられます。
  - ・［**全画像コピー**］/［**全データコピー**］の場合、画像や音声データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名はコピー先の最大のフォルダー番号に 1 を加えた番号からの連番で付けられます。ファイル名は変わりません。

- フォルダー内のファイル番号が 9999 に達した場合には、カメラが自動的に新しいフォルダーを作成し、そのフォルダー内で再び 0001 から連番をつけます。
- フォルダー番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が 9999 に達した場合には、内蔵メモリーまたは SD カードの残量に余裕があっても、それ以上撮影できません。SD カードを交換するか、内蔵メモリーまたは SD カードを初期化 (106) してください。
- 拡張子 .Mov の QuickTime ムービーファイルは、パソコンに転送して再生することもできます。
- 画像再生時に最初に表示される画像は、番号が最も大きいフォルダーの中の、ファイル番号が最も大きい画像です。

写真に日付を写し込んでプリントするには

日付の写し込みは、次の方法で設定することができます。

- 再生メニューの [**プリント指定**] で設定する (68)
  - ・撮影した後に設定します。
  - ・日付は画像上には写し込まれません。日付の情報は、DPOF の設定ファイルにデータとして記録され、DPOF 対応のプリンターや、デジタルプリントサービス取扱店などでプリントした場合にだけ、日付が写し込まれます。日付のプリント位置は、ご使用のプリンターの設定より異なります。
- 撮影前にセットアップメニューの [**デート写し込み**] で設定する (101)
  - ・撮影前に設定する必要があります。
  - ・日付が画像上に写し込まれます。プリント時には常に日付が画像の右下に写し込まれた状態でプリントされます。ただし、写し込まれた日付は、画像上から消すことができません。また、撮影済みの画像に写し込んだりすることもできません。
  - ・[**デート写し込み**] と [**プリント指定**] を両方とも設定した場合は、DPOF 対応プリンターを使用しても [**デート写し込み**] による日付のみがプリントされます。
- 画像をパソコンに転送し、PictureProject の「印刷の設定：写真情報を印刷」で設定する
  - ・詳細は PictureProject ソフトウェア使用説明書 (CD-ROM) をご覧ください。

日付のプリントについてのご注意

プリントされる日付は、撮影時にカメラに設定されていた日時です。撮影後に日時設定を変更しても、すでに撮影した画像の日付は変更されません。撮影前に日時が正しく設定されているかご確認ください (19)。日時を設定せずに撮影した画像には、日付をプリントできません。

[**プリント指定**] (68) による日付のプリントが可能なのは、DPOF 対応プリンターだけです (プリント位置はプリンターに依存します)。ご使用のプリンターが DPOF に対応していない場合は、セットアップメニューの [**デート写し込み**] 機能 (101) をご使用ください (プリント位置は固定です)。[**プリント指定**] と [**デート写し込み**] の両方で日付のプリントを指定した場合は、[**デート写し込み**] が優先されます。

主な仕様

ニコンデジタルカメラ COOLPIX S4

項目	仕様
型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	6.0 メガピクセル
撮像素子	1/2.5 型原色 CCD、総画素数 6.4 メガピクセル
画像モード	• 2816 × 2112［高画質(2816★) / 標準(2816)］ • 2048 × 1536［エコノミー（2048)］ • 1024 × 768［パソコン(1024)］ • 640 × 480［TV（640)］
レンズ	光学 10 倍ズームニッコールレンズ
焦点距離	f=6.3 ～ 63mm（35mm 判換算 38 ～ 380mm）
絞り	F3.5
レンズ構成	9 群 12 枚
電子ズーム	最大 4 倍(35mm 判換算で約 1520mm 相当)
オートフォーカス	コントラスト検出方式、AF 補助光付き
撮影距離	レンズ前約 30cm ～∞（マクロモード時は約 4cm（ズームのワイド側）～∞)
AF エリア	中央、オート
AF 補助光	クラス 1 LED 製品(IEC60825-1 Edition 1.2-2001) 最大出力値 1400 μW
液晶モニター	2.5 型 TFT 液晶、110,000 画素、輝度調節機能付き(5 段階)
視野率(撮影時)	上下左右とも約 97%（対実画面)
視野率(再生時)	上下左右とも約 100%（対実画面)
記録形式	
記録媒体	内蔵メモリー（約 13.5MB)、SD メモリーカード
画像ファイル	Design rule for Camera File System（DCF)、Exif 2.2 準拠、Digital Print Order Format(DPOF) 準拠
ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline 準拠　　音声：WAV 動画：QuickTime

Design rule for Camera File system（DCF)について

COOLPIX S4は、Design rule for Camera File system(DCF)に準拠しています。DCFは、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。

Exif ※ Version 2.2 について

COOLPIX S4 は、Exif Version 2.2 に対応しています。Exif Version 2.2 は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。Exif Version 2.2 対応のプリンターを使用することで、撮影時のカメラ情報をいかした最適なプリント出力を得ることができます。プリンターの使用説明書をご参照ください。

※ Exif = Exchangeable image file format

使用説明書について

- 使用説明書の誤りになどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

露出	
測光方式	マルチパターン測光（256 分割）、5 点 AF スポット測光対応
露出制御	プログラムオート、露出補正（－ 2 ～＋ 2EV、1/3EV ステップ）可能
露出連動範囲（ISO100 換算）	EV ＋ 2.7 ～＋ 17.5
シャッター	メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
シャッタースピード	2 ～ 1/1000 秒
絞り	電磁駆動による絞り羽根制御および ND フィルター選択方式
制御段数	5（F3.5、F4.0、F5.6、F6.8、F13.6）
ISO 感度	ISO50 相 当、 感 度 切 り 換 え 可 能（ オ ー ト、ISO50、ISO100、ISO200、ISO400 相当）
セルフタイマー	約 10 秒
内蔵フラッシュ	
調光範囲	約 0.4 ～ 3.0m
調光方式	自動調光制御
インターフェース	USB
ビデオ出力	NTSC、PAL から選択可能
入出力端子	オーディオビデオ出力 / デジタル端子（USB）
言語	ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、オランダ語、ロシア語、スウェーデン語、日本語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語（12 言語）から選択可能
電源	• 単 3 形アルカリ乾電池 2 本 • リチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2（ニッケル水素電池）2 本 • 単 3 形オキシライド乾電池 2 本、単 3 形リチウム電池 2 本 • AC アダプターキット EH-62B
充電時間	約 2 時間
撮影可能コマ数（電池寿命）※	約 160 コマ（アルカリ乾電池使用時）/ 約 290 コマ（EN-MH1-B2 使用時）/ 約 450 コマ（リチウム電池使用時）
寸法	約 111.5（W）× 68.5（H）× 37（D）mm（レンズ部収納時。突起部を除く。）
質量（重さ）	約 205g（電池、SD カード、レンズキャップ除く）
動作環境	
温度	0 ～＋ 40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

※ CIPA 規格（電池寿命測定方法を定めたカメラ映像機器工業会の規格）によるものです。測定条件は、25℃、撮影ごとにズーム、2 回に 1 回の割合でフラッシュ撮影、画像モード「標準」です。

• 仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、リチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2 をフル充電で使用時のものです。

索引

英数・マーク

ア

カ

サ

付録

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

付録

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
- 修理に出されるときに、SD カードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後 5 年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

FAX:03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：	年　　月　　日
お買い上げ日：	年　　月　　日
製品名：	シリアル番号：
フリガナ お名前：	
連絡先ご住所：□自宅　　□会社 〒 TEL: FAX:	
ご使用のパソコンの機種名： メモリー容量： OS のバージョン： その他接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：	 ハードディスクの空き容量： ご使用のインターフェースカード名：
問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度： （おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）	

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

全国共通
☎0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00（年末年始、夏期休暇等を除く毎日）
携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033** におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499** におかけください。

音声によるご案内に従い、ご利用窓口の番号を入力してください。お問い合わせ窓口の担当者がご質問にお答えいたします。

ニコン宅配修理サービスのご案内

修理品梱包資材のお届けから修理品のお引き取り、修理後の製品のお届けまでのサービスは下記をご利用ください。（有料サービス）

＜ニコン宅配修理サービスお申し込み専用窓口＞

0120 FreeDial **☎0120-868-545**

携帯電話やPHS等からのご利用はできません。
営業時間：9:30～17:30（土・日・祝日を除く毎日）年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

なお、上記フリーダイヤルでは宅配修理サービス関連以外のご案内は行っておりません。

株式会社 ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
SB5H00500301(10)
6MA11810-A